

下水道設計標準図

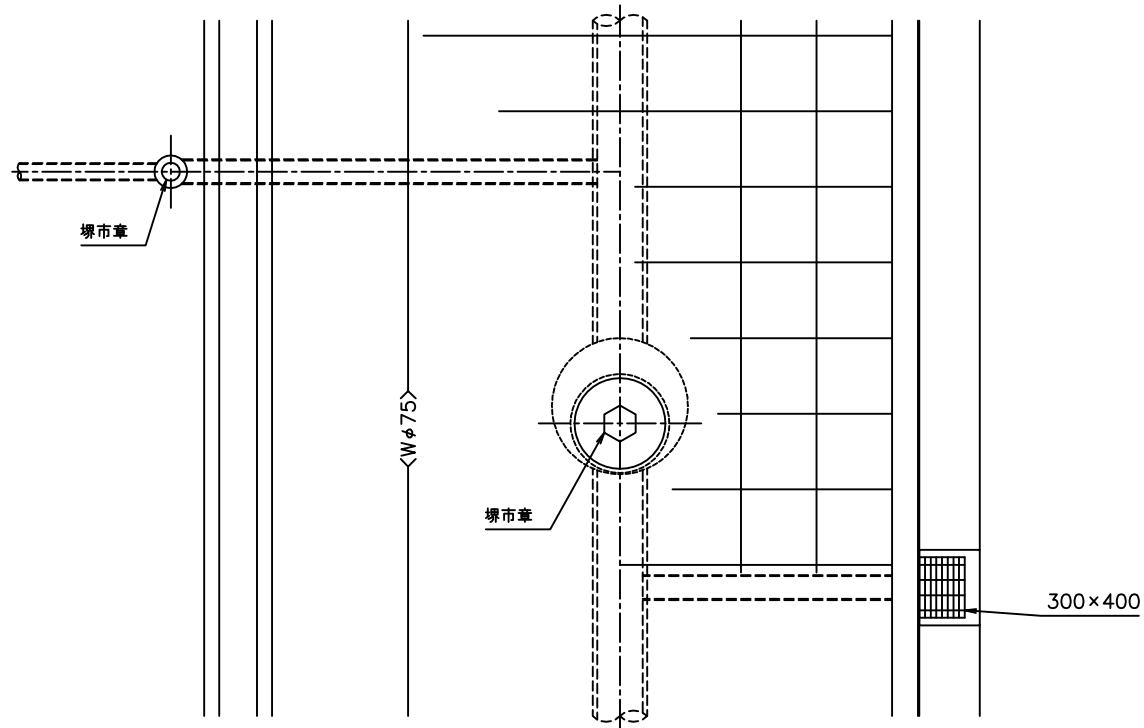
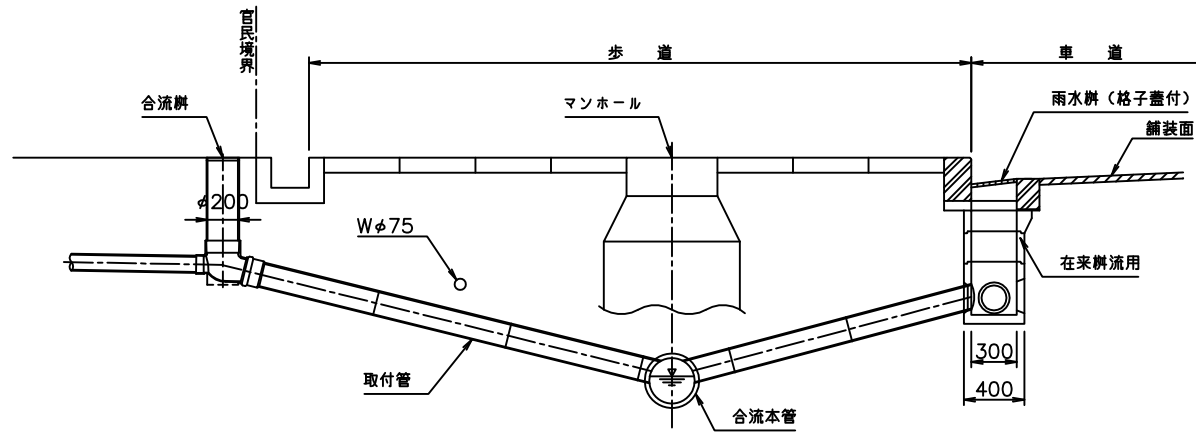
参考資料

堺市上下水道局

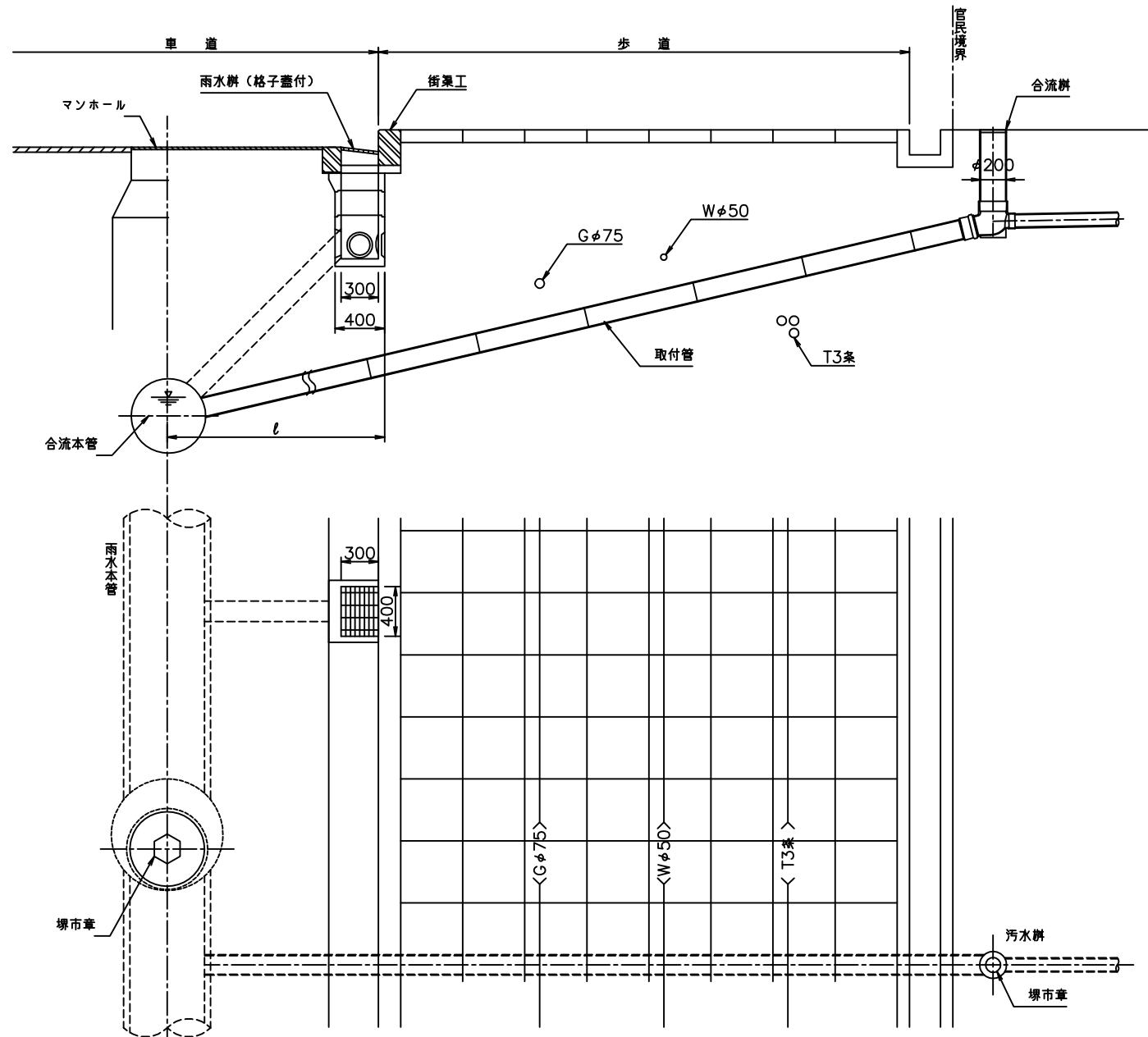
目 次

	ページ		ページ
合流式複断面標準布設図（その1）歩道内の場合	1	路面覆工標準図	30
合流式複断面標準布設図（その2）街渠下の場合	2	既設下水管吊防護標準図（1）	31
はしご胴木基礎	3	既設下水管吊防護標準図（2）	32
（遠心力鉄筋コンクリート 内径250mm～1800mm）		鋼矢板立坑寸法参考表（T型コーナー矢板使用の場合）	33
コンクリート基礎工（基礎角度360°）参考図（1）	4	令和3年4月追加分	
コンクリート基礎工（基礎角度360°）参考図（2）	5	遠心力鉄筋コンクリート管布設詳細図	34
A型マンホール構造図 挿入管φ250mm～φ600mm	6	（コンクリート枕ブロック基礎工）（1）	
T字管の形状寸法（JIS A-5353）	7	遠心力鉄筋コンクリート管布設詳細図	35
枝付管用支管（取付管用）（JSWAS K-1）（RH）	8	（コンクリート枕ブロック基礎工）（2）	
陶管形状寸法	9	副管付きマンホール構造（本管φ200 副管φ150の場合）	36
曲管詳細図（厚陶管）JIS R-1201	10	90°大曲りY φ200×φ150（VULT）	36
下水道用マンホール側塊（JIS A-5372）	11	マンホール装鉄コンクリート製蓋及び同縁石詳細図 参考図	37
コンクリートブロック（畳築工）	12	特殊A型マンホールIタイプ構造図	38
宅地内コンクリート柵ブロック詳細図	13	B型マンホールIタイプ構造図	39
汚水柵（コンクリート製）設置図	14	C型マンホールIタイプ構造図	40
（小型5段積、大型6段積）		D型マンホールIタイプ構造図	41
汚水柵設置図（大型5段積）	15	E型マンホールIタイプ構造図	42
コンクリート汚水柵蓋詳細図	16	F型マンホールIタイプ構造図	43
特定柵（縁石ブロック詳細図）（特定柵鉄蓋詳細図）	17	G型マンホールIタイプ構造図	44
汚水柵ブロック詳細図	18	C形管の形状寸法（JIS A-5303）（JSWAS A-1）	45
雨水、汚水柵ブロック詳細図	19	マンホール差口短管 下流用マンホール継手（参考図）	46
雨水柵設置図（M-2）（1）	20	マンホール差口短管 上流用マンホール継手（参考図）	47
雨水柵設置図（M-2）（2）	21	特殊組立マンホール（φ600）足掛金物（参考図）	48
雨水柵設置図（M-3）	22	マンホール蓋詳細図 φ600（T-14）平成14年8月1日版	49
雨水柵設置図（4段積）	23	マンホール蓋詳細図 φ600（T-25）平成14年8月1日版	50
雨水柵（FCD製格手蓋付）設置図	24		
宅地内雨水柵ブロック詳細図（φ300）（1）	25		
宅地内雨水柵ブロック詳細図（φ300）（2）	26		
雨水柵用斜壁	27		
雨水柵蓋（ダクタイルグレーチング）詳細図	28		
雨水柵グレーチング用調整ブロック詳細図	29		

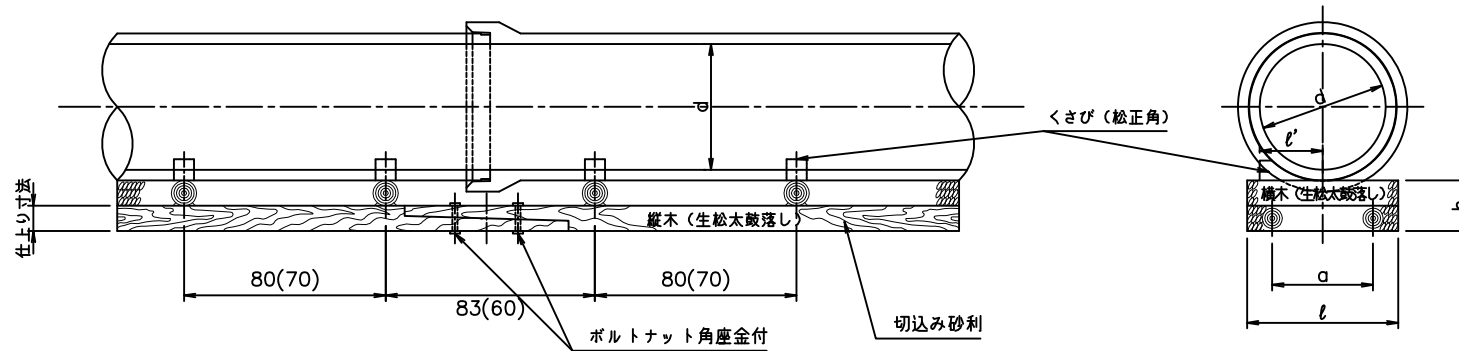
合流式複断面標準布設図（その1）歩道内の場合



合流式複断面標準布設図（その2）街渠下の場合



はしご胴木基礎（遠心力鉄筋コンクリート 内径250mm～1800mm）



仕上り寸法×2以上
 () 内寸法値は長さ2000mm管

はしご胴木基礎寸法表

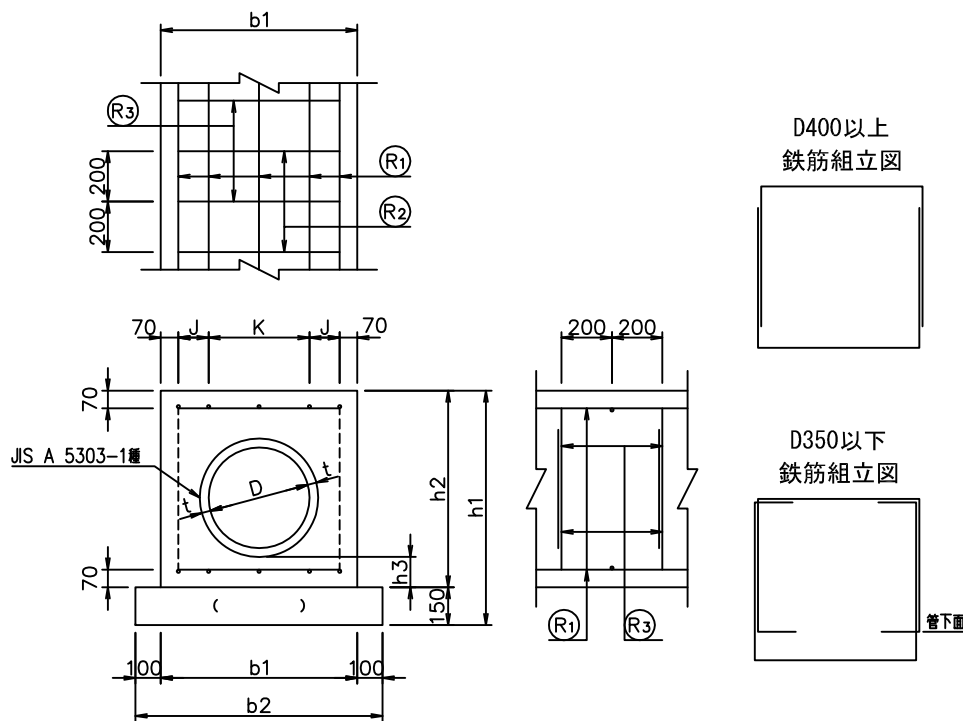
単位：mm

内径 (d)	縦木間隔 (a)	基礎幅 (D)	基礎厚 (h)	くさび長さ (l')
250~350	300	450	165	150
400	300	450	165	150
450~650	400	600	180	200
700~1000	600	900	240	300
1100~1200	800	1200	240	400
1350	1000	1500	240	400
1500	1000	1500	300	400
1650~1800	1200	1800	300	400

コンクリート基礎工（基礎角度360°）参考図（1）

設計条件

コンクリート設計基準強度	基礎	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$
鉄筋の種類	SD345	



360° 固定基礎 寸法表

寸法表								
D	t	b1	b2	h1	h2	h3	J	K
200	27	460	660	610	460	100	-	320 (=2×160)
250	28	520	720	670	520	100	-	380 (=2×190)
300	30	560	760	710	560	100	-	420 (=2×210)
350	32	620	820	770	620	100	140	200
400	35	780	980	930	780	150	120	400 (=2×200)
450	38	840	1040	990	840	150	150	400 (=2×200)
500	42	900	1100	1050	900	150	180	400 (=2×200)

360° 固定基礎 材料表

D	材 料 表 (10m当たり)				備 考
	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	コンクリート管本数	
200	1.609	9.200	6.600	5.0	JIS A 5303 遠心力鉄筋コンクリート管 (1種) を使用
250	1.969	10.400	7.200	5.0	
300	2.118	11.200	7.600	5.0	
350	2.498	12.400	8.200	5.0	
400	4.349	15.600	9.800	4.1	
450	4.883	16.800	10.400	4.1	
500	5.421	18.000	11.000	4.1	

360° 固定基礎 鉄筋材料表

D	縦 方 向 鉄 筋 ① (1m当たり)				横 方 向 鉄 筋 ② (1m当たり)				横 方 向 鉄 筋 ③ (1m当たり)				鉄筋総質量 (kg)			
	鉄筋径	本数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	鉄筋径	本数	1本当たりの長さ (mm)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	鉄筋径	本数	1本当たりの長さ (mm)		単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
200	D13	6	0.995	5.970	D13	5	320	0.995	1.592	D13	5	1110	0.995	5.522	□	13.084
250	D13	6	0.995	5.970	D13	5	380	0.995	1.891	D13	5	1230	0.995	6.119	□	13.980
300	D13	6	0.995	5.970	D13	5	420	0.995	2.090	D13	5	1310	0.995	6.517	□	14.577
350	D13	8	0.995	7.960	D13	5	480	0.995	2.388	D13	5	1430	0.995	7.114	□	17.462
400	D13	10	0.995	9.950	D13	5	640	0.995	3.184	D13	5	1750	0.995	8.706	□	21.840
450	D13	10	0.995	9.950	D13	5	700	0.995	3.483	D13	5	1870	0.995	9.303	□	22.736
500	D16	10	1.56	15.600	D13	5	760	0.995	3.781	D13	5	1990	0.995	9.900	□	29.281

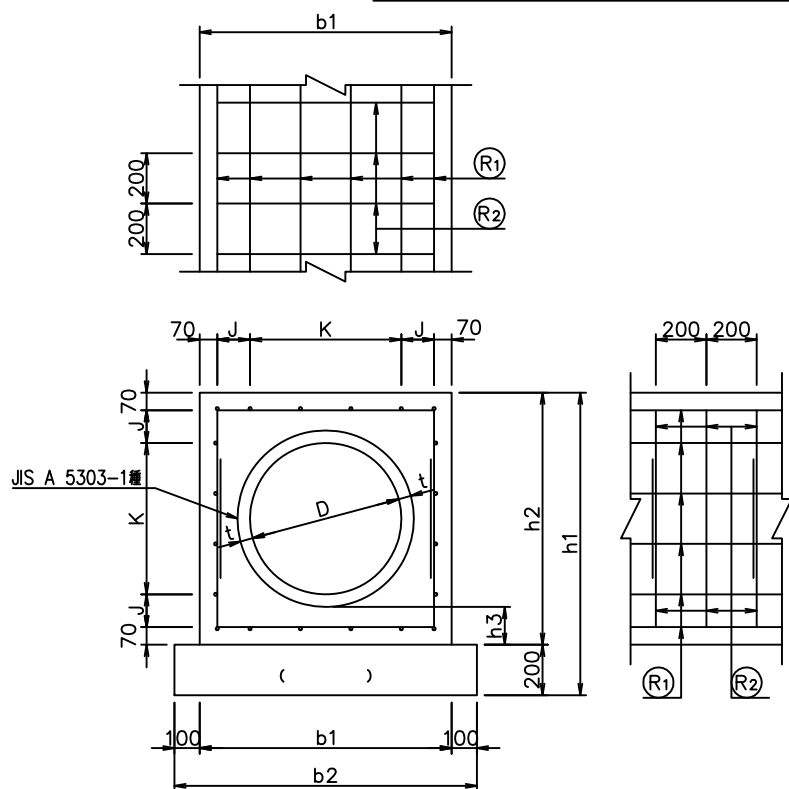
注意事項

1. 使用管種はJIS A-5303遠心力鉄筋コンクリート管外圧管 第1種を標準とする。
2. 基礎材の使用材料を図中()内に明記すること。
3. 型枠面積は、基礎コンクリート両側面のみ計上した。
4. 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200~350を2000mm、D400~1000mmを2430mmとした。
5. 継手形式は、別途考慮すること。
6. 呑口、吐口の構造を十分検討すること。
7. 参考図であり、別途構造計算を行うこと。

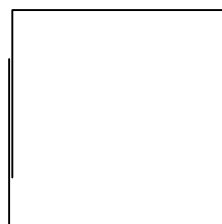
コンクリート基礎工（基礎角度360°）参考図（2）

設計条件

コンクリート設計基準強度	基礎	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
鉄筋の種類		SD345



鉄筋組立図



360° 固定基礎 寸法表

寸法表								
D	t	b1	b2	h1	h2	h3	J	K
600	50	1000	1200	1200	1000	150	130	600 (=3×200)
700	58	1220	1420	1420	1220	200	140	800 (=4×200)
800	66	1340	1540	1540	1340	200	-	1200 (=6×200)
900	75	1460	1660	1660	1460	200	160	1000 (=5×200)
1000	82	1580	1780	1780	1580	200	120	1200 (=6×200)

360° 固定基礎 材料表

D	材 料 表 (10m当たり)				備 考
	コンクリート (m ³)	型 枠 (m ²)	基礎材 (m ²)	コンクリート管本数	
600	6.152	20.000	12.000	4.1	JIS A 5303 遠心力鉄筋コンクリート管 (1種)を使用
700	9.654	24.400	14.200	4.1	
800	11.134	26.800	15.400	4.1	
900	12.657	29.200	16.600	4.1	
1000	14.323	31.600	17.800	4.1	

360° 固定基礎 鉄筋材料表

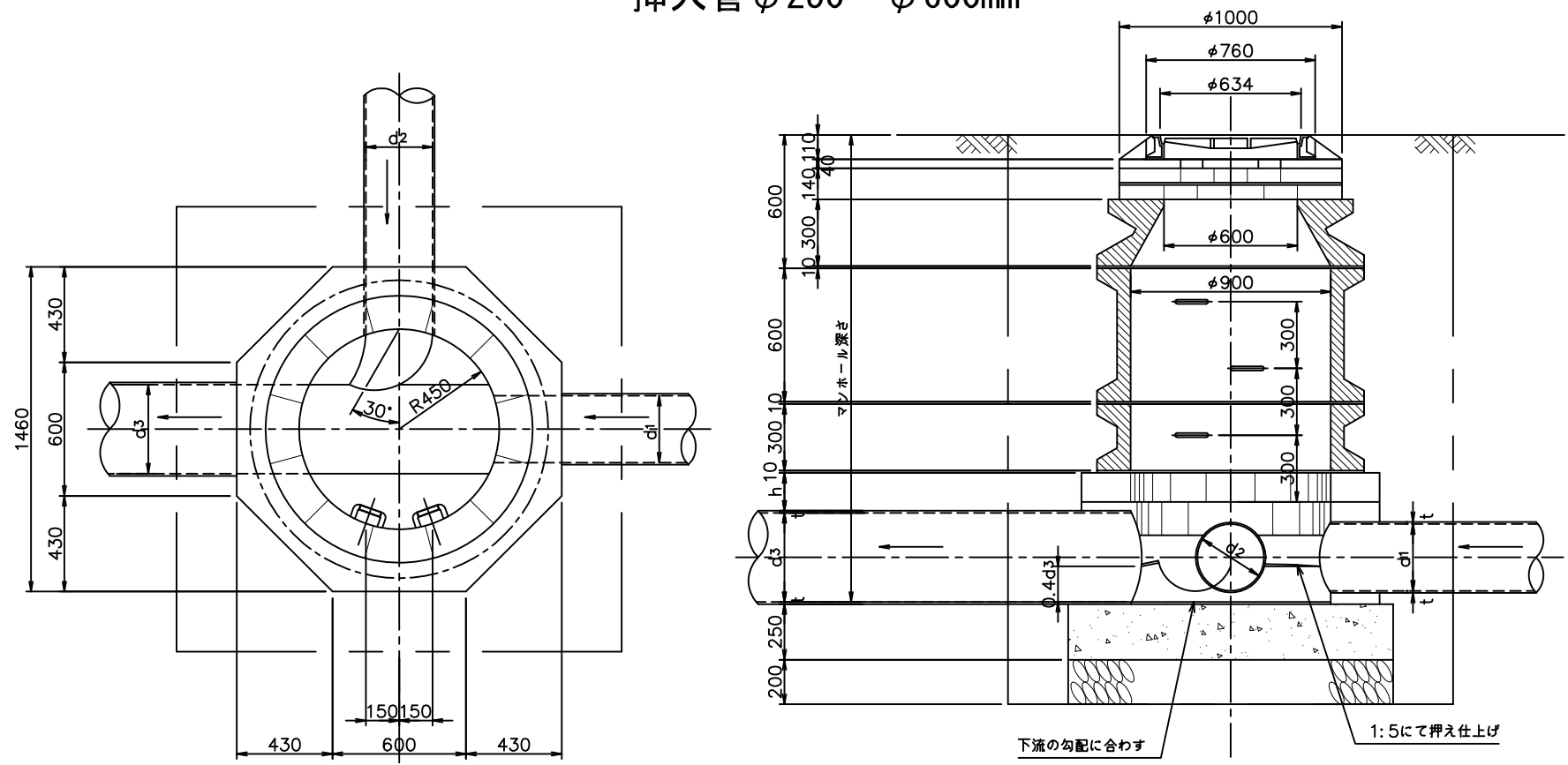
D	縦 方 向 鉄 筋 ① (1m当たり)				横 方 向 鉄 筋 ② (1m当たり)				鉄筋総質量 (kg)		
	鉄筋径	本 数	単 位 質 量 (kg/m)	質 量 (kg)	鉄筋径	本 数	1本当たりの長さ (mm)	単 位 質 量 (kg/m)		質 量 (kg)	形 状
600	D13	20	0.995	19.900	D13	10	2190	0.995	21.791	□	41.691
700	D13	24	0.995	23.880	D13	10	2630	0.995	26.169	□	50.049
800	D16	24	1.56	37.440	D13	10	2870	0.995	28.557	□	65.997
900	D16	28	1.56	43.680	D13	10	3110	0.995	30.945	□	74.625
1000	D16	32	1.56	49.920	D13	10	3350	0.995	33.333	□	83.253

注意事項

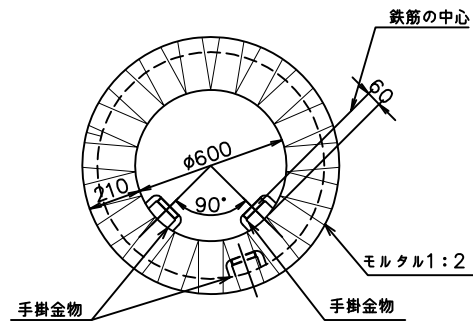
1. 使用管種はJIS A-5303遠心力鉄筋コンクリート管外圧管 第1種を標準とする。
2. 基礎材の使用材料を図中()内に明記すること。
3. 型枠面積は、基礎コンクリート面側面のみ計上した。
4. 管本数の計算に用いた単管長は、管径D200~350を2000mm、D400~1000mmを2430mmとした。
5. 継手形式は、別途考慮すること。
6. 呑口、吐口の構造を十分検討すること。
7. 参考図であり、別途構造計算を行うこと。

A型マンホール構造図

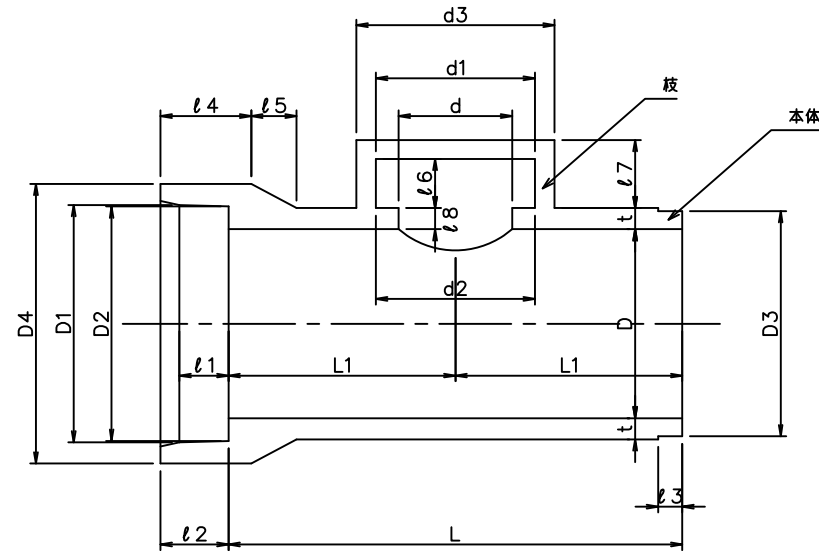
挿入管 $\phi 250 \sim \phi 600\text{mm}$



手掛金物の位置



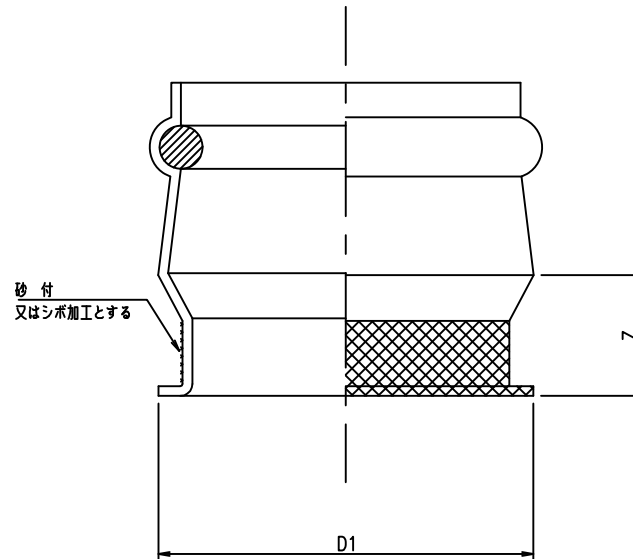
T字管の形状寸法 (JIS A-5353)



単位: mm

呼び径	呼び	本 体													枝							
		内径 D	D1	D2	D3	D4	厚さ T	l1	l2	l3	l4	l5	有効長 L	L1	内径 d	d1	d2	d3	l6	l7	l8	
200	200×150	200	262	258	246	316	27	65	90	32	115	55	600	300	150	210	206	262	65	90	27	
250	250×150	250	314	310	298	370	28	65	90	32	120	60	600	300	150	210	206	262	65	90	28	
300	300×150	300	368	364	350	424	30	65	90	36	120	60	600	300	150	210	206	262	65	90	30	
350	350×150	350	422	418	404	482	32	65	90	36	120	65	600	300	150	210	206	262	65	90	32	
400	400×150	400	478	474	460	544	35	70	95	36	125	70	800	400	150	210	206	262	65	90	35	
450	450×150	450	534	530	516	606	38	70	95	36	125	75	800	400	150	210	206	262	65	90	38	
250	250×200	250	314	310	298	370	28	65	90	32	120	60	600	300	200	262	258	316	65	90	28	
300	300×200	300	368	364	350	424	30	65	90	36	120	60	600	300	200	262	258	316	65	90	30	
350	350×200	350	422	418	404	482	32	65	90	36	120	65	600	300	200	262	258	316	65	90	32	
400	400×200	400	478	474	460	544	35	70	95	36	125	70	800	400	200	262	258	316	65	90	35	
450	450×200	450	534	530	516	606	38	70	95	36	125	75	800	400	200	262	258	316	65	90	38	

枝付管用支管（取付管用）（JSWAS K-1） （RH）



単位：mm

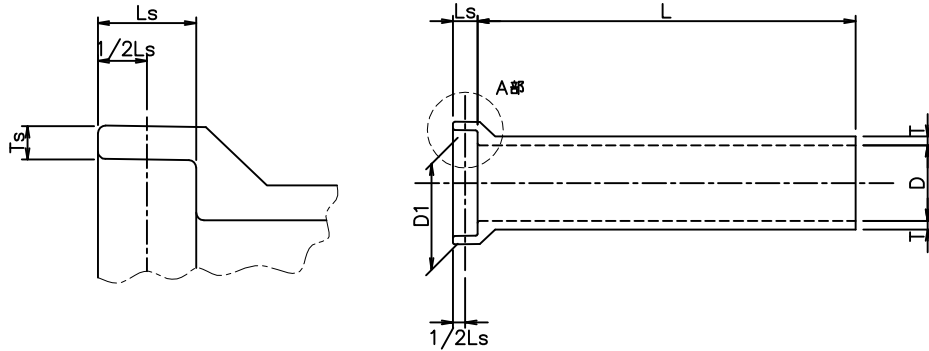
呼び径	D ₁	Z
150	198	80
200	248	80

- 注) 1. D₁の許容差は±5mmとする。
 2. Zの許容差は±15mmとする。
 3. ゴム輸受口は、取付け管形とする。
 4. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地等の浅い凹凸を付ける加工をいう。

陶管形状寸法

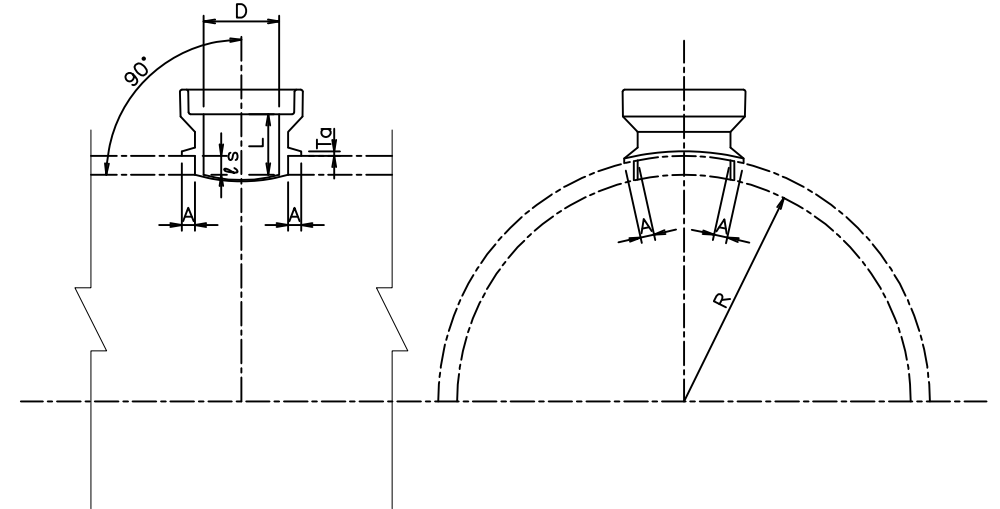
厚焼陶管直管詳細図 JIS R-1201

A部拡大図



陶製90度支管詳細図 JIS R-1201

90度支管



種類	太さの呼び	内径 D	有効長さ L	管の厚さ T	受口の深さ Ls	受口の内径 D1	受口の厚さ Ts	重量 (参考) Kg	反り (mm/m)
厚管	150	150 ± 4	660 ⁺¹⁴ ₋₇	19 ⁺² ₋₀	60 ± 5	215 ± 10	18 ± 2	17	4以下
			1000 ⁺²⁰ ₋₁₀					26	
	200	200 ± 5	660 ⁺¹⁴ ₋₇	23 ⁺² ₋₀	65 ± 5	280 ± 13	22 ± 3	27	
			1000 ⁺²⁰ ₋₁₀					38	

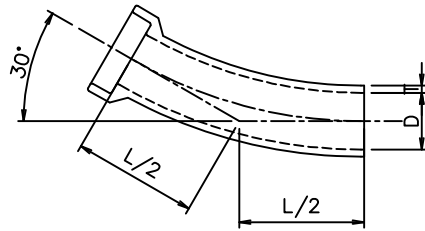
単位: mm

種類	形状	呼び径	内径 D	有効長さ L	差入れ長さ ℓs	つば		R	角度
						幅 A	厚さ Ta		
厚管	甲	150	150 ± 4	120 ± 9	25 ± 5	30以上	10以上	200	90 ± 5度
				130 ± 10				600	
	乙	200	200 ± 5	150 ± 12	25 ± 5	35以上	12以上	200	
				160 ± 12				35 ± 5	

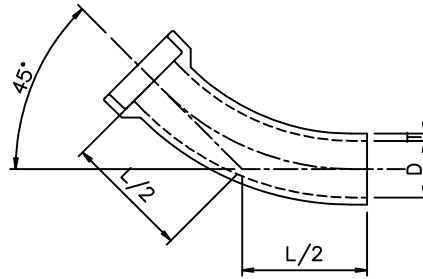
種類	太さの呼び	圧縮荷重 kg/m	吸水率 %	耐融度 %
厚管	150	2800以上	9.0以下	0.25以下
	200	3000以上		

曲管詳細図（厚陶管） JIS R-1201

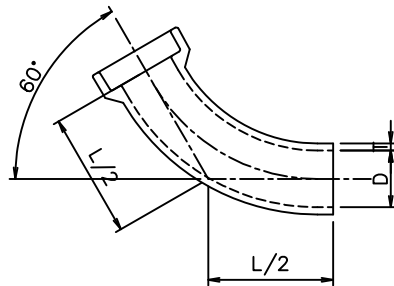
30度曲管（厚管）



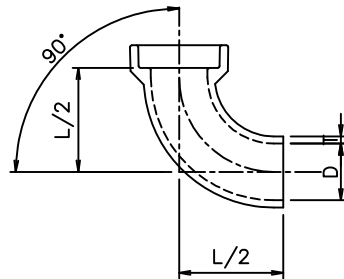
45度曲管（厚管）



60度曲管（厚管）



90度曲管（厚管）

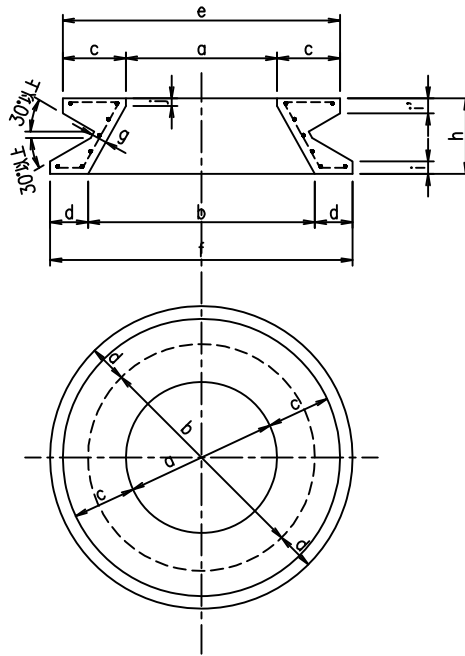


単位：mm

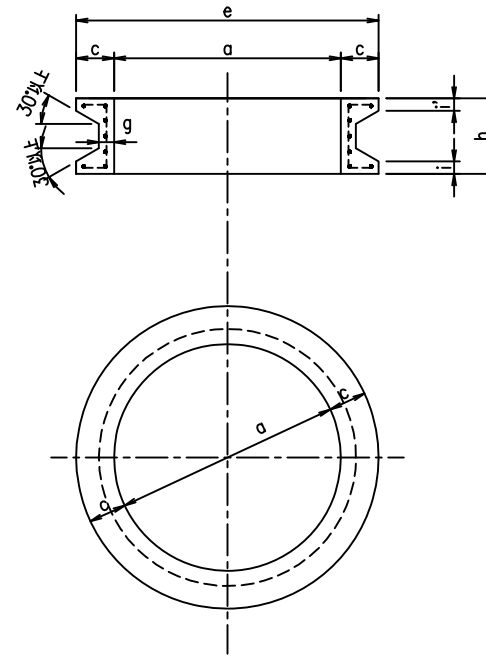
種類	形状	呼び径	内径 D	管の厚さ T	有効長さ L=L1+L2	角度
厚管	30度曲管	100	100 ±3	16 ⁺³ ₀	500 ±15	30 ±5度
		150	150 ±4	19 ⁺³ ₀	660 ±20	
		200	200 ±5	23 ⁺³ ₀		
	45度曲管	100	100 ±3	16 ⁺³ ₀	500 ±15	45 ±5度
		150	100 ±4	19 ⁺³ ₀	660 ±20	
		200	200 ±5	23 ⁺³ ₀		
	60度曲管	100	100 ±3	16 ⁺³ ₀	500 ±15	60 ±5度
		150	150 ±4	19 ⁺³ ₀	660 ±20	
		200	200 ±5	23 ⁺³ ₀		
	90度曲管	100	100 ±3	16 ⁺³ ₀	500 ±15	90 ±5度
		150	150 ±4	19 ⁺³ ₀	550 ±20	
		200	200 ±5	23 ⁺³ ₀		

下水道用マンホール側塊 JIS A-5372

斜 壁



直 壁



呼び径		寸 法 (mm)											配 筋				重量 (kg)	摘要
		a	b	c	d	e	f	g	h	i	i'	j	らせん鉄筋		縦鉄筋			
													径 (mm)	巻 数	径 (mm)	本数 (本)		
標準 断面	600A	600	900	250	150	1100	1200	60	300	50	60	30	5.0	6	5.0	20	318	堺市使用型
	900A	900	-	150	-	1200	-	60	300	50	50	-	5.0	6	5.0	20	244	堺市使用型
	900B	900	-	150	-	1200	-	60	600	50	50	-	5.0	9	5.0	20	374	堺市使用型

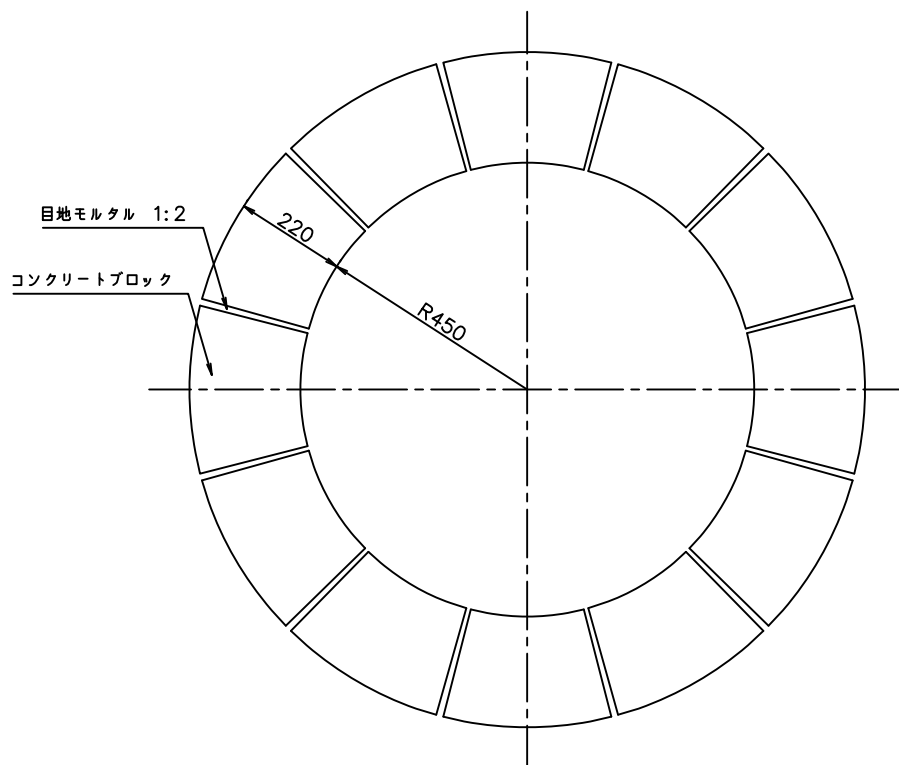
注) 1. 足掛金物ポリビレン樹脂被覆のもの(芯材径19mm)を使用の事。

h=300mmで1ヶ所

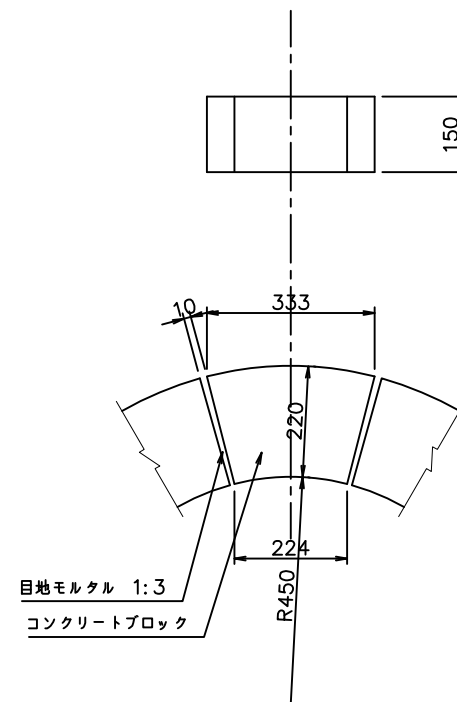
h=600mmで2ヶ所

2. 本図は参考図である。詳細は、JIS A-5372による。

コンクリートブロック (畳築工)

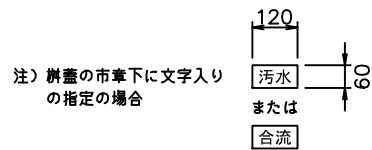
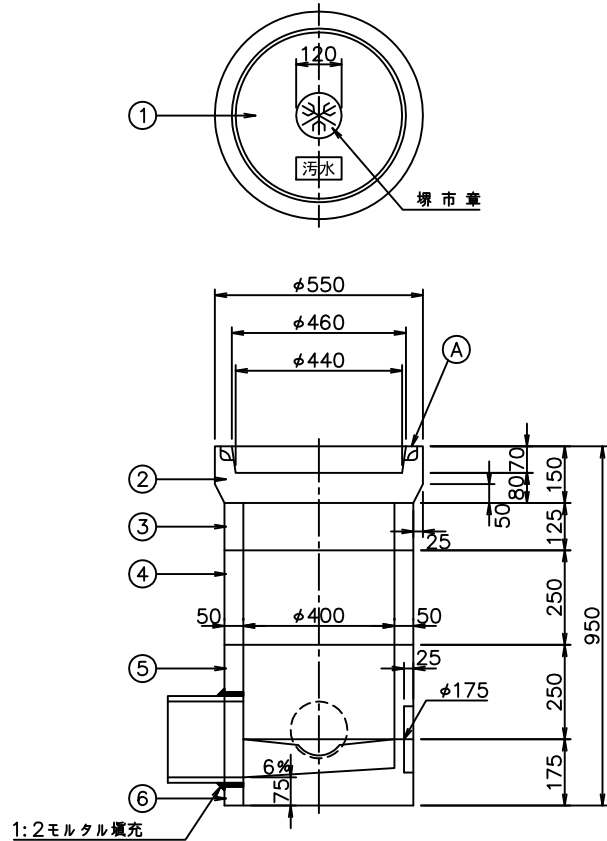


1周当り使用個数 12個
1個当り重量 22kg

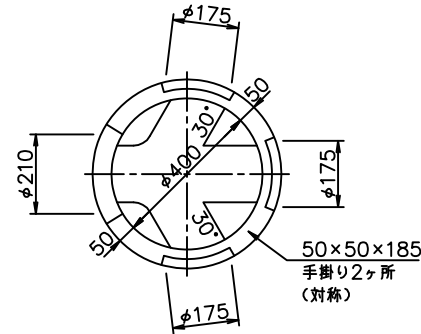


汚水枡（コンクリート製）設置図 S=1/20

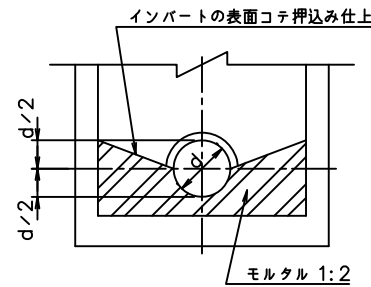
小 型
(5 段積)



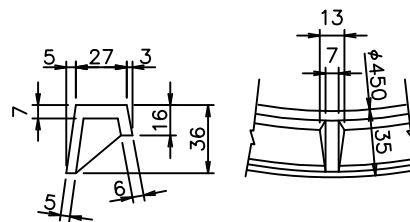
インバート部詳細図
(小型)



A-A' 断面図 (大型)

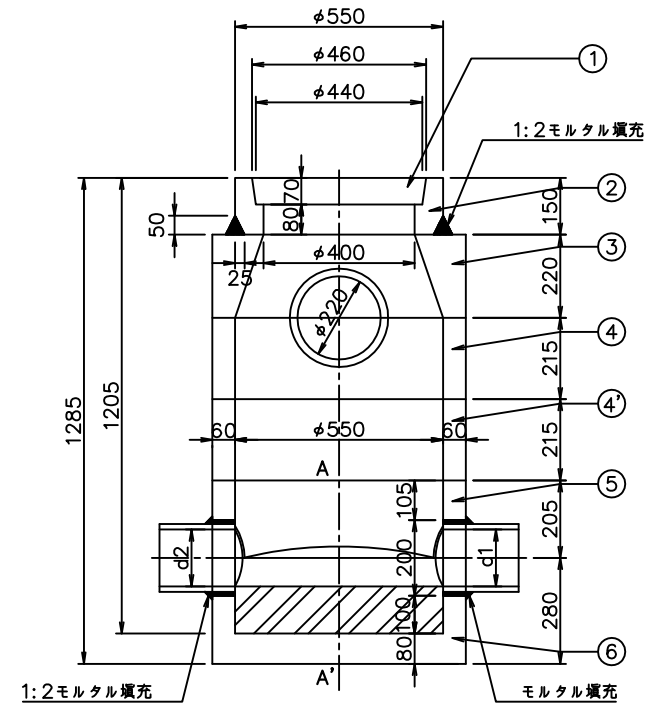


補強金具 (A) 鋳鉄 (FC) S=1/4



大 型
(6 段積)

小型の蓋と同一



汚水柵設置図

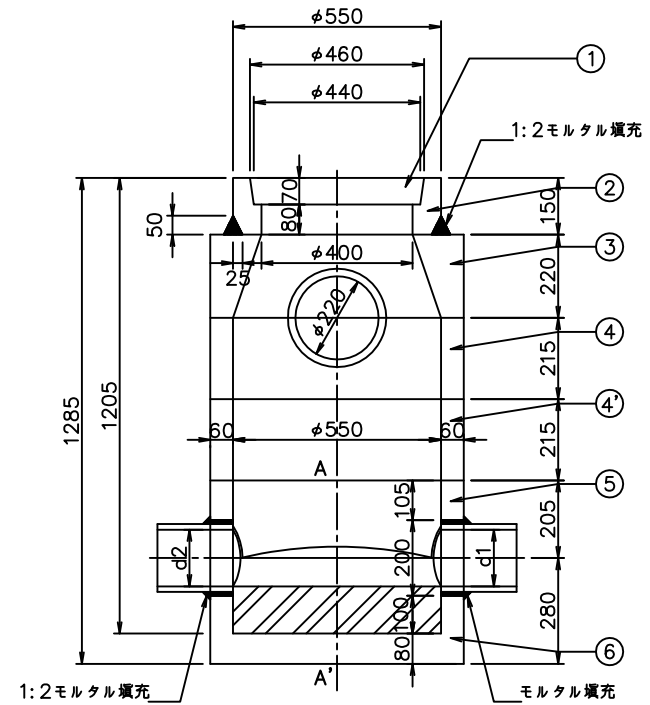
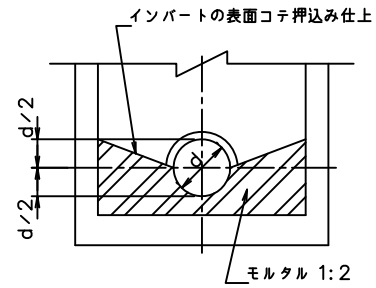
S=1/20

大型 5段積

(大型)

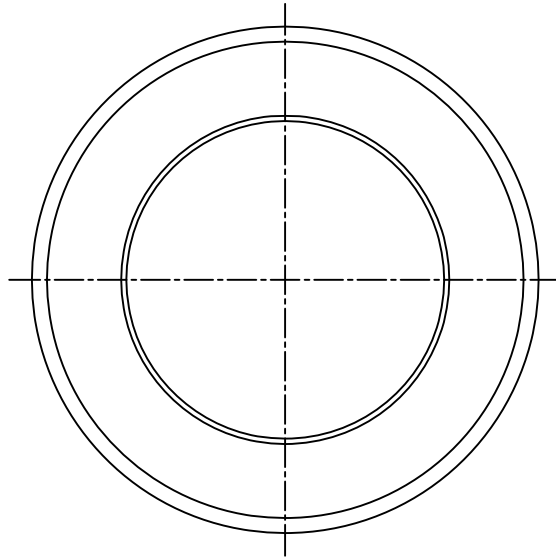
小型の蓋と同一

A-A' 断面図

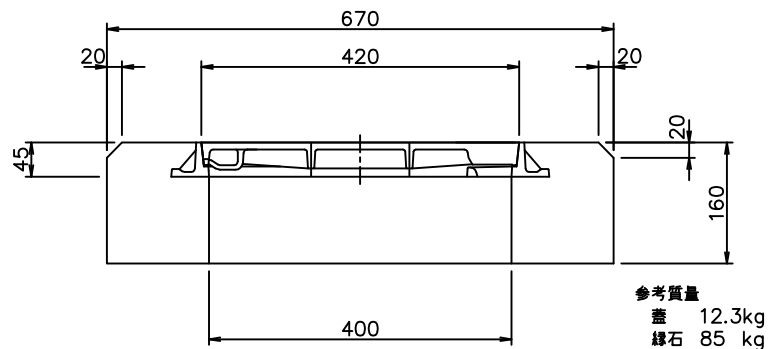


特 定 柵

縁石ブロック詳細図



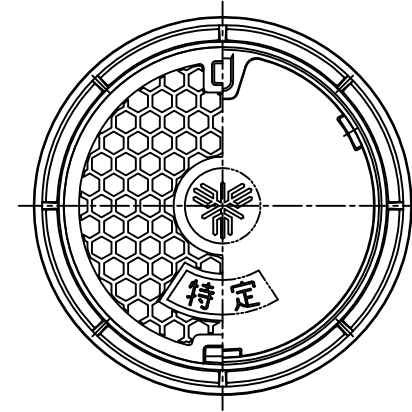
平 面



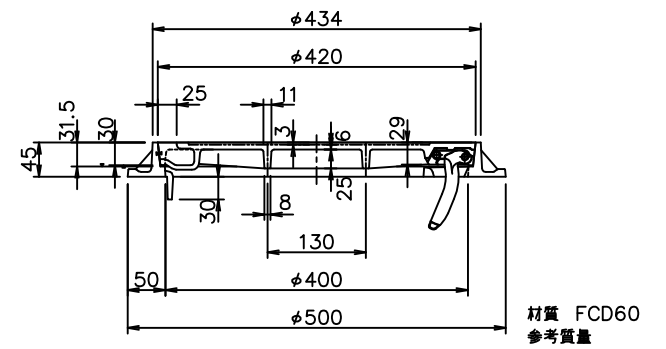
断 面

特定柵鉄蓋詳細図

(公道上)



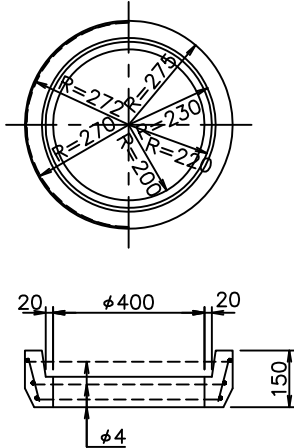
平 面



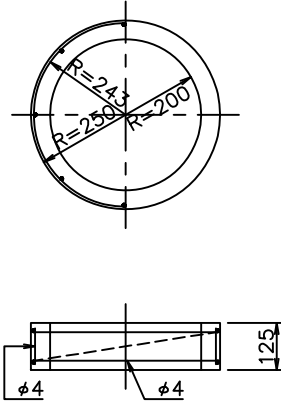
断 面

汚水枡ブロック詳細図 S=1/20

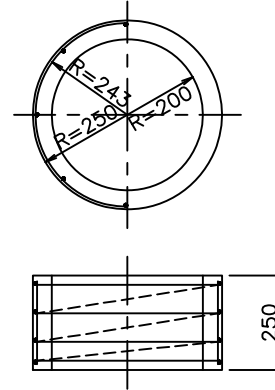
② 小型, 大型用
1個当り参考重量
34kg



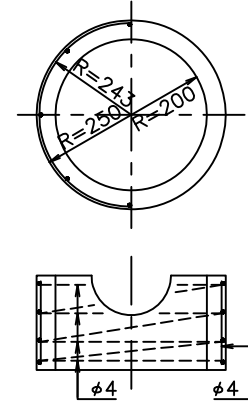
③ 小型用
1個当り参考重量
21kg



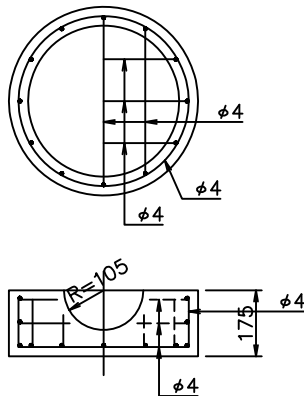
④ 小型用
1個当り参考重量
41kg



⑤ 小型用
1個当り参考重量
37kg



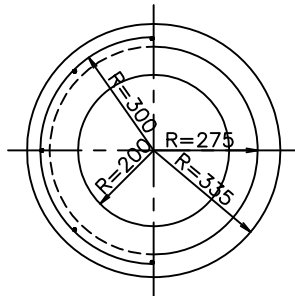
⑥ 小型用
1個当り参考重量
58kg



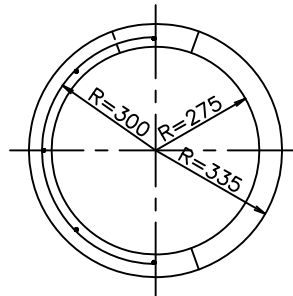
注) らせん鉄筋は場合によっては、リング状鉄筋でもよい。

雨水、汚水柵ブロック詳細図 S=1/20

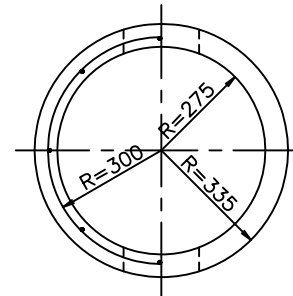
③ 大型汚水用
1個当り参考重量
87kg



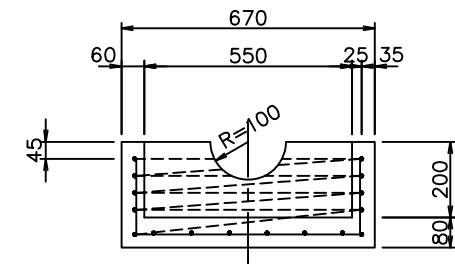
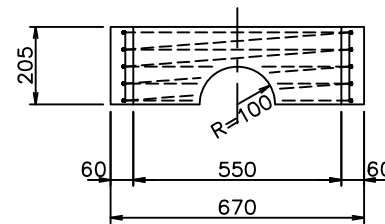
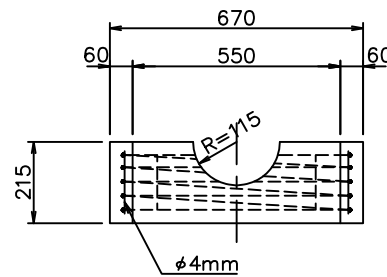
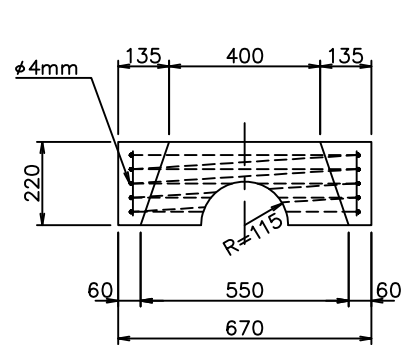
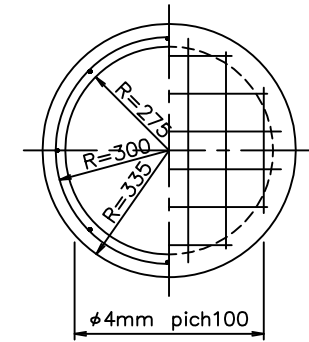
④ 大型雨水, 汚水用
1個当り参考重量
57kg



⑤ 大型雨水, 汚水用
1個当り参考重量
51kg

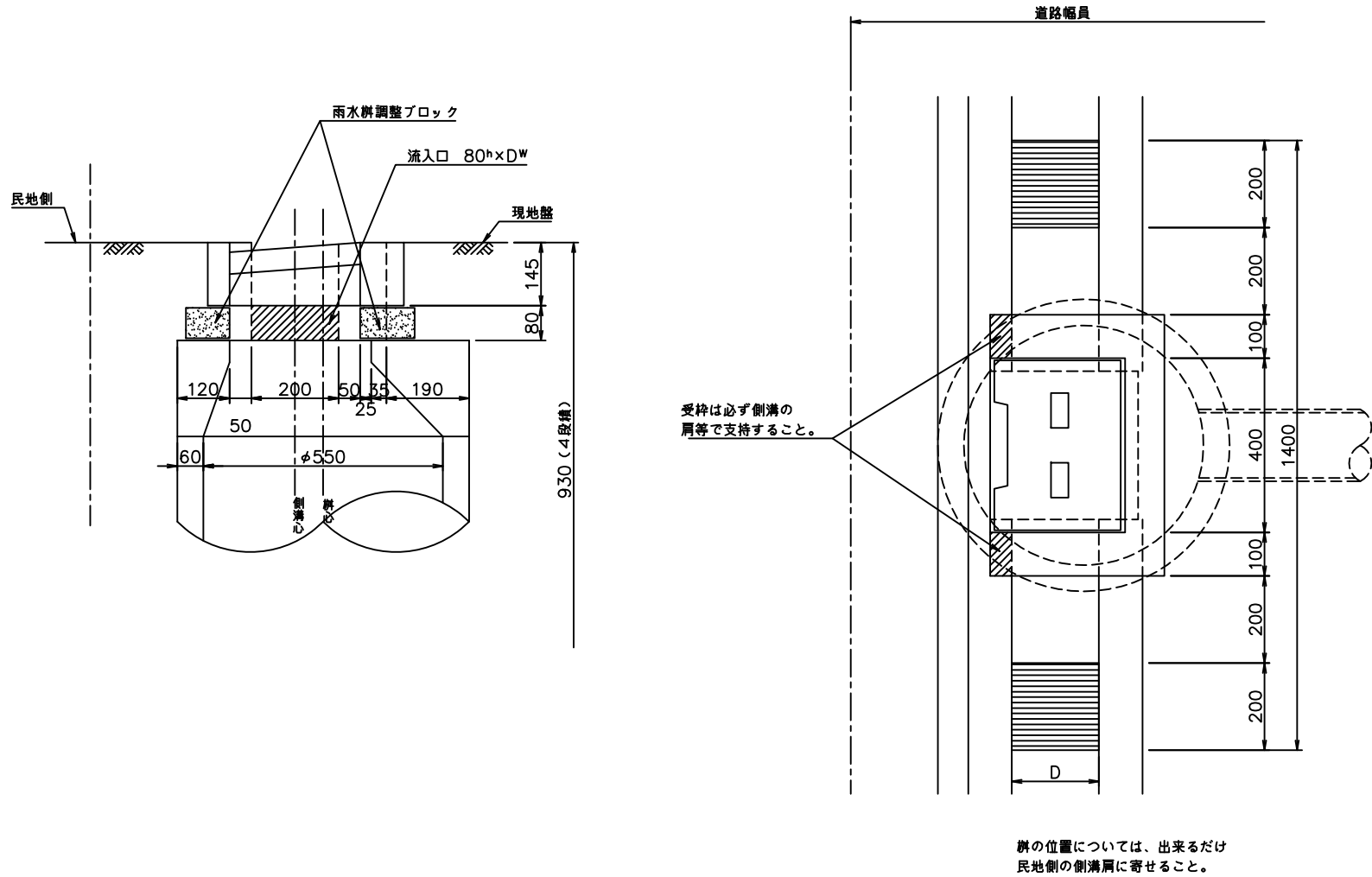


⑥ 大型雨水, 汚水用
1個当り参考重量
113kg

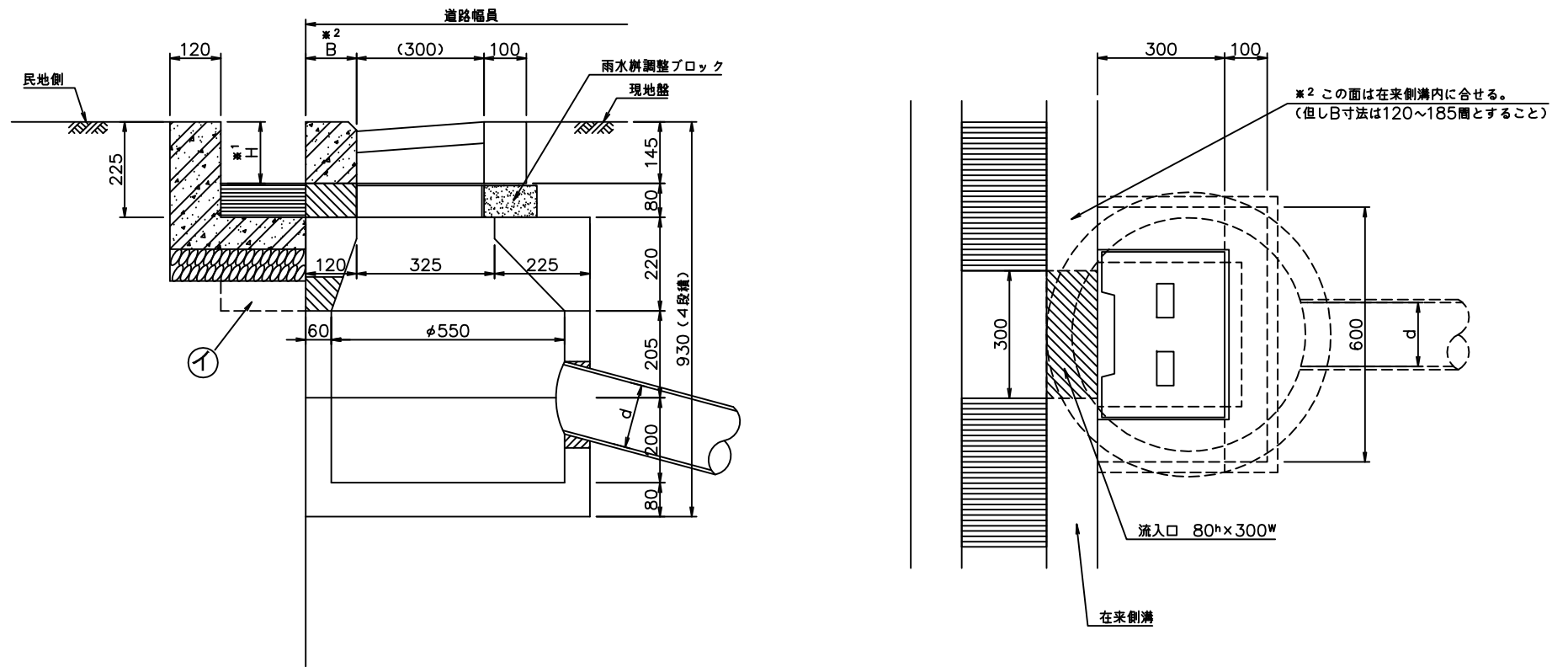


注) らせん鉄筋は場合によっては、リング状鉄筋でもよい。

雨水枴設置図 (M-2) (1)

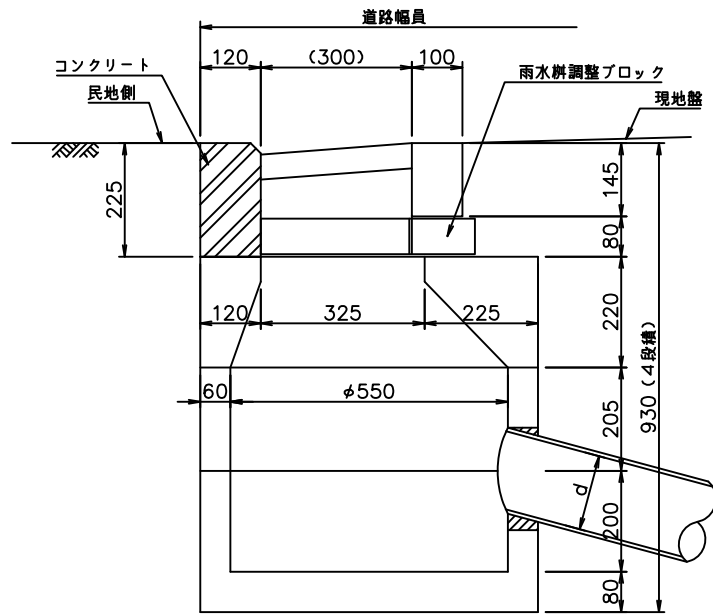


雨水枥設置図 (M-3)

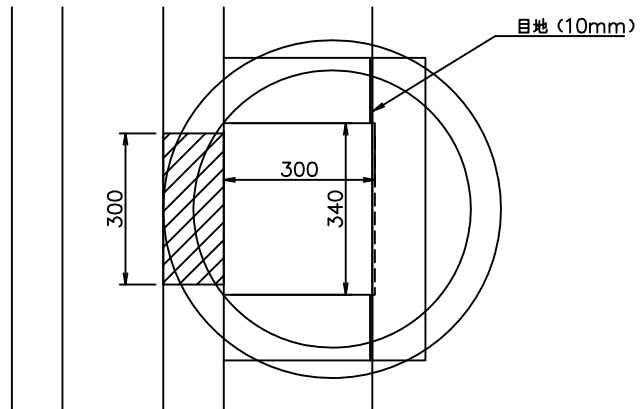
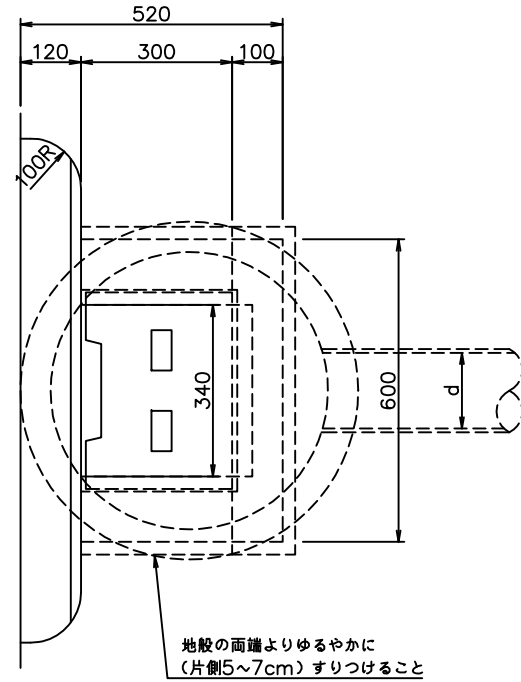


※¹ 在来側溝の深さHが225mmを超える場合は
①部の220mm上半円より取り込むこと。

雨水枡設置図（4段積）

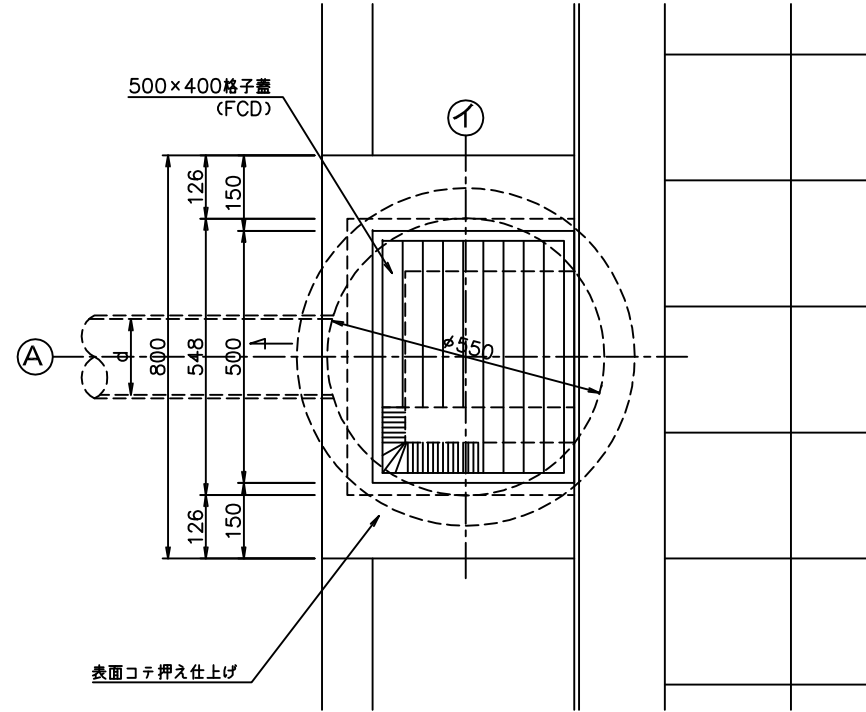
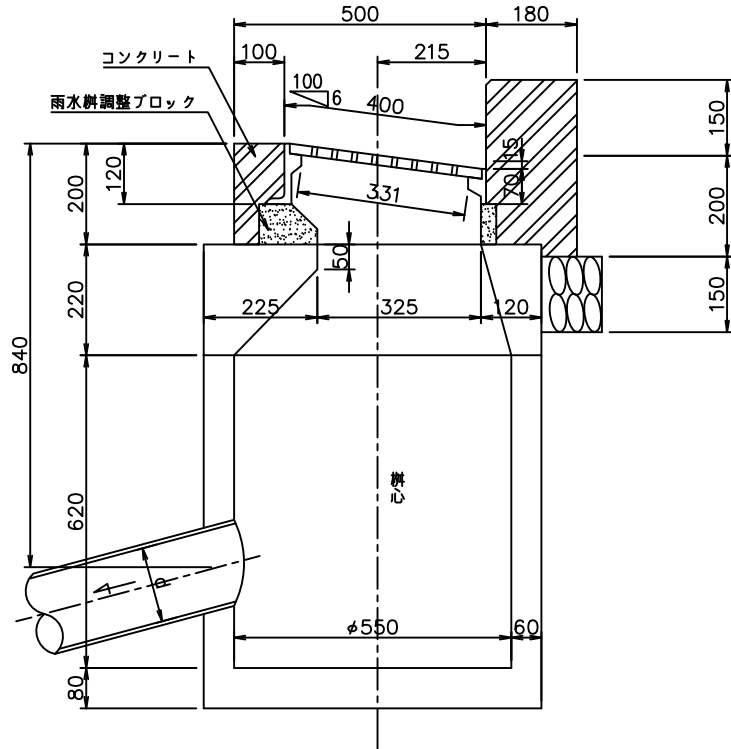


ブロック積要領図

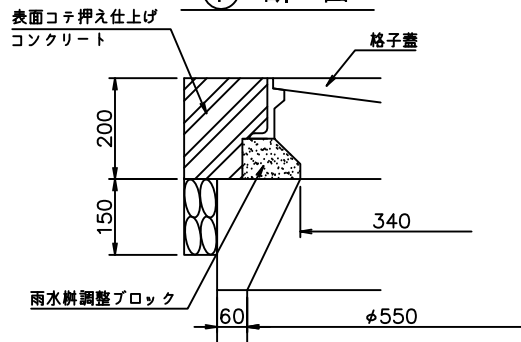


雨水枥（FCD製格手蓋付）設置図

Ⓐ 断面

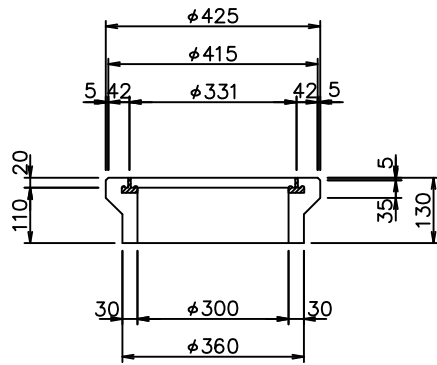
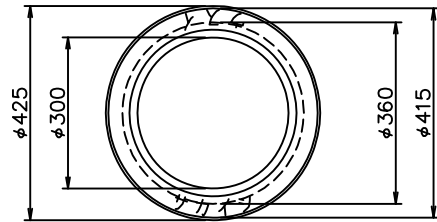


㊦ 断面

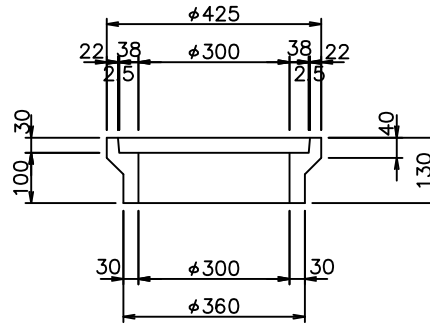
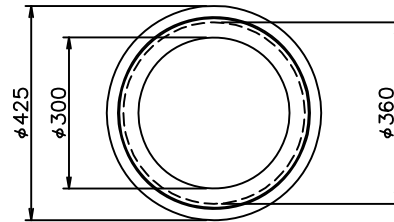


宅地内雨水枡ブロック詳細図 (φ300) (1)

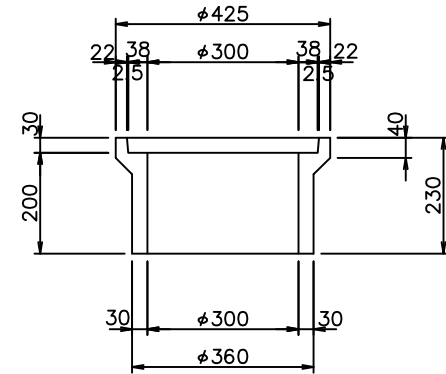
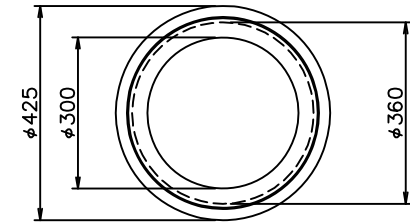
受 枠



調 整

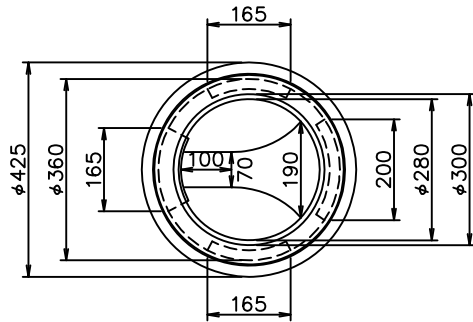


調 整

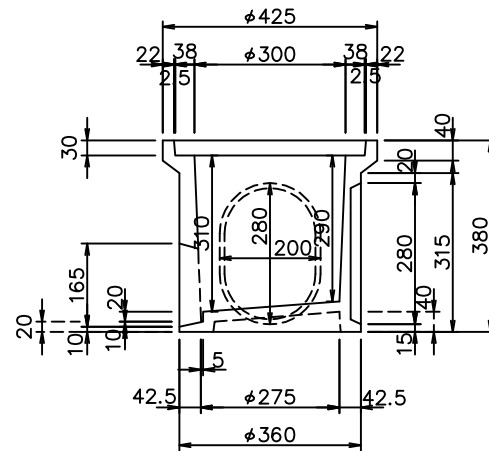
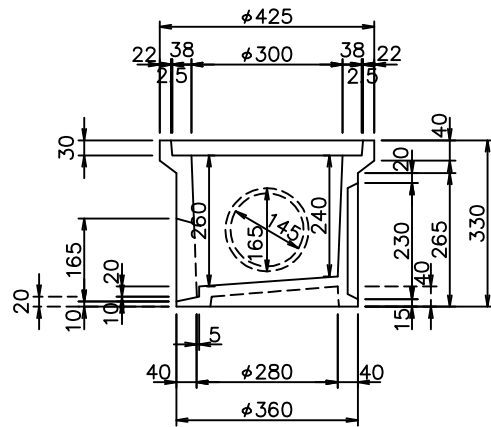
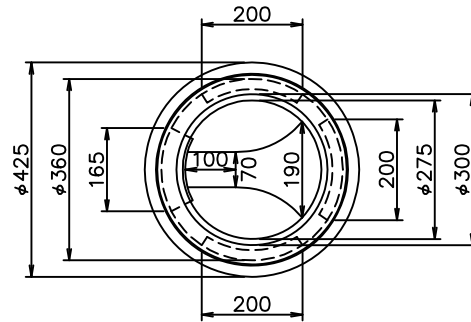


宅地内雨水枡ブロック詳細図 (φ300) (2)

本 体

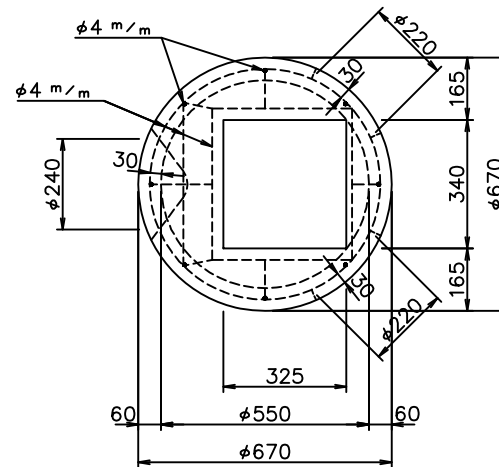
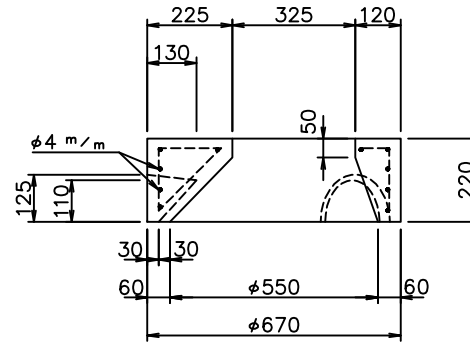


本 体

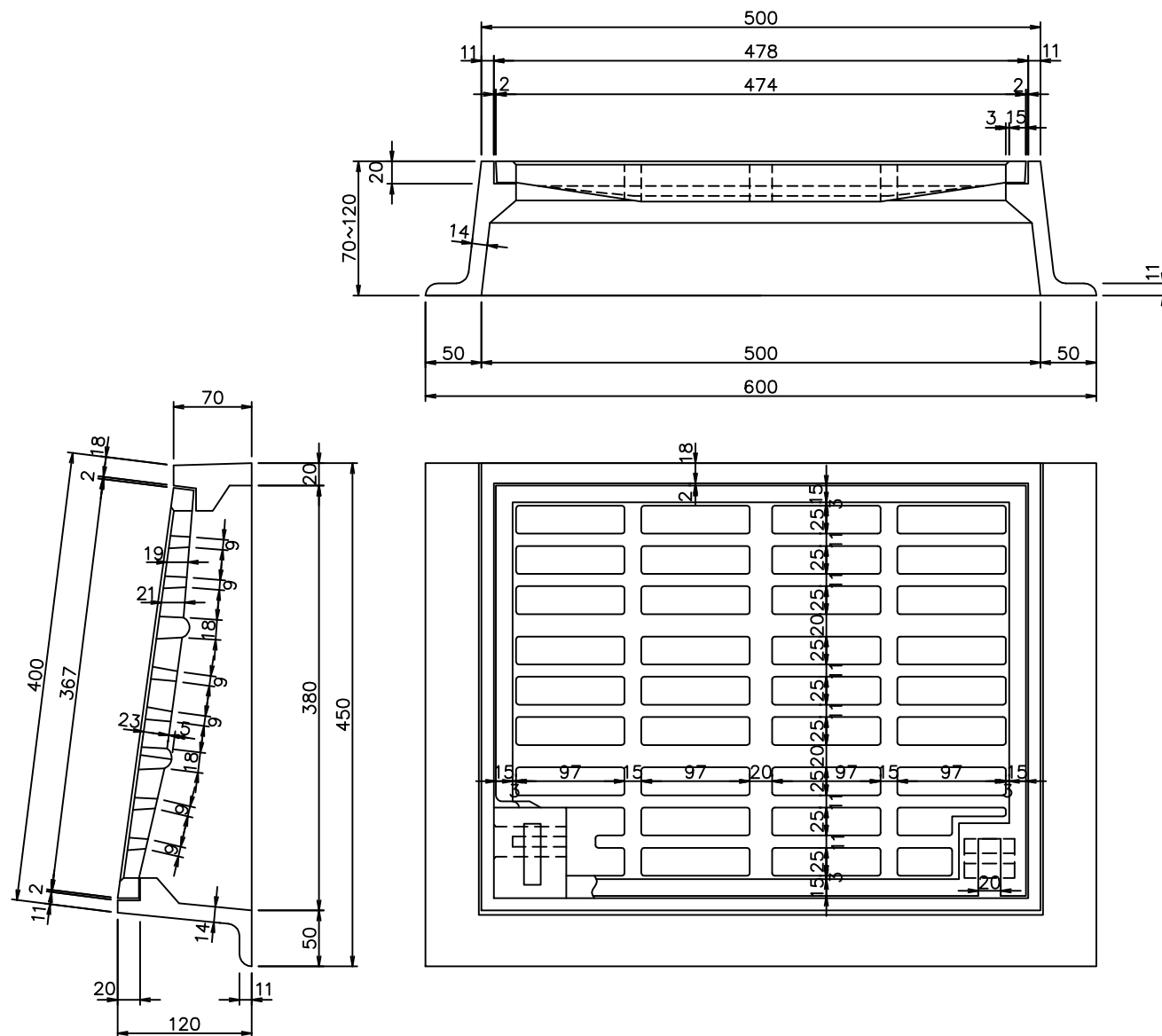


雨水柵用斜壁 S=1:20

参考重量：
90kg



雨水枡蓋（ダクタイルグレーチング）詳細図（180°全開蝶番式）

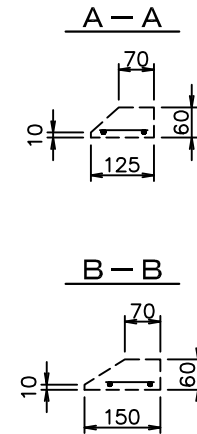
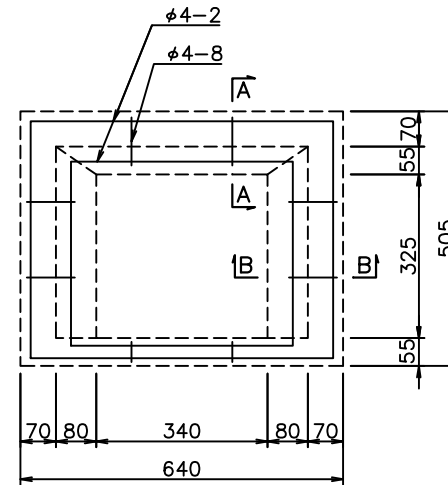
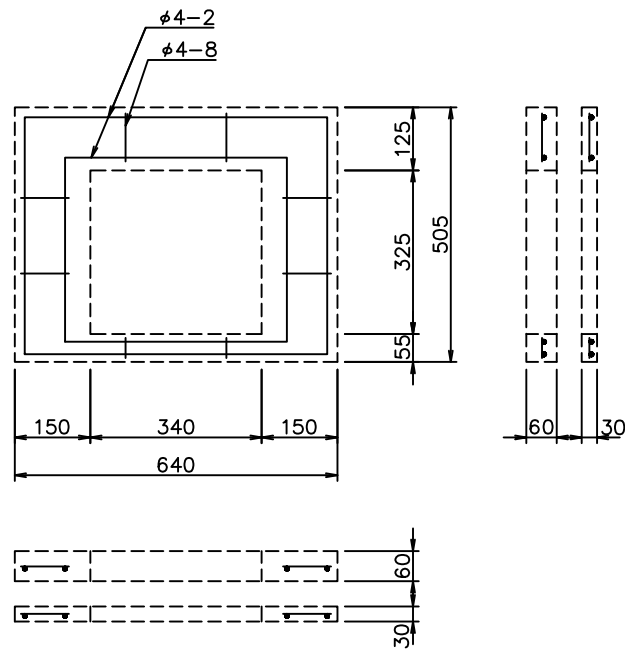


標準材質	
蓋	FCD 60
枠	FC 20
蝶番金物	FCD 45
蝶番ピン	SUS 304

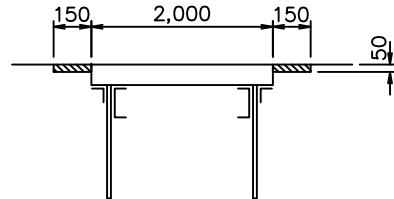
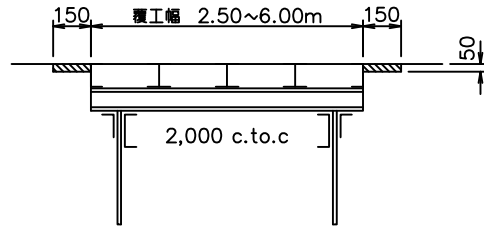
標準仕様		
耐荷重	20t以上	
残留歪	10tにて1mm以内	
引張強さ	60kg/mm ² 以上	
伸び	8~15%	
硬度	HB210以上	
重量	蓋	14 kg
	枠	31 kg
*載荷板	200mm×250mm	

- * 詳細図、標準材質、標準仕様に基づき、監督員の承認を受けること。
- * 図の形、寸法、材質、仕様等については、標準であり、規定したものではない。
- * 責任標示として製造者のマークを表示すること。

雨水枴グレーチング用調整ブロック詳細図

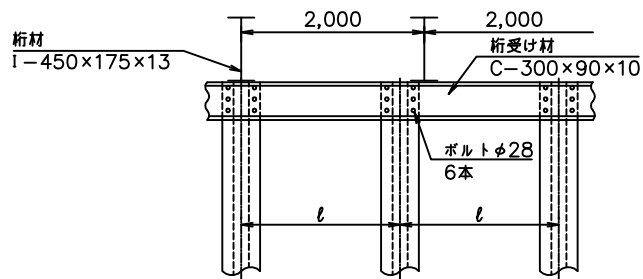


路面覆工標準図



備考. 小規模な場合等は、別途考慮できる。

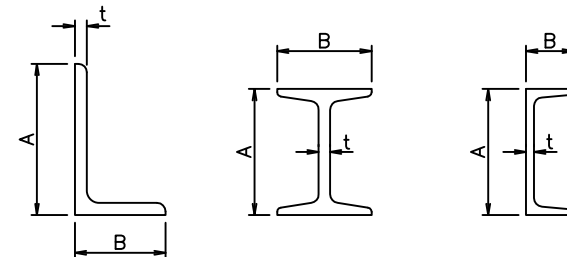
受桁と受け材取付け標準図



覆工材料表

(10m当り)

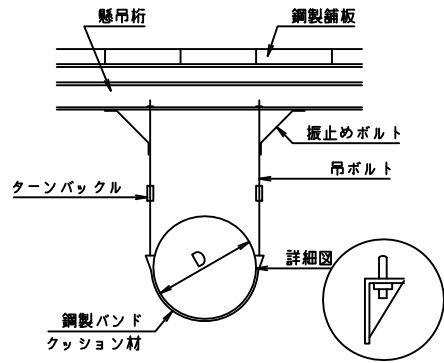
種目 幅 (m)	覆工板 (枚)	桁目 2.00m C.to C. (kg)	桁受け材 (kg)	その他鋼材 (kg)	粗粒アスコン (kg)	雑材料
2.00	2000×1000 10	L-125×90×10 C-200×80×75 814	—	—		
2.50	2000×750 10 2000×1000 5	I-200×150×9 651	L-125×90×10 C-200×80×75 } 814			
3.00	2000×1000 15	I-250×125×10 860	L-150×90×12 C-250×90×11 } 1234			
3.50	2000×750 10 2000×1000 10	I-300×150×10 1184	L-150×90×12 C-250×90×11 } 1234			
4.00	2000×1000 20	I-300×150×10 1354	L-150×90×12 C-250×90×11 } 1234			
4.50	2000×750 10 2000×1000 15	I-350×150×12 2027	L-150×90×12 C-250×90×11 } 1234			
5.00	2000×1000 25	I-350×150×12 2253	L-150×90×12 C-250×90×11 } 1234			
5.50	2000×750 10 2000×1000 20	I-450×175×11 2606	L-150×90×12 C-300×90×10 } 1306			
6.00	2000×1000 30	I-450×175×13 3565	L-150×90×12 C-300×90×10 } 1306			



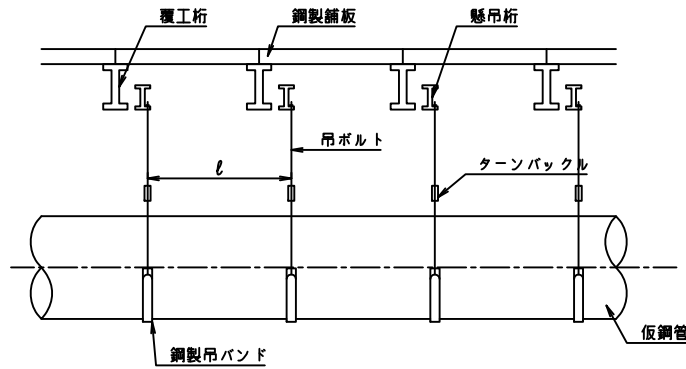
既設下水管吊防護標準図 (1)

懸吊標準図 (仮下水管)

横断面図



縦断面図

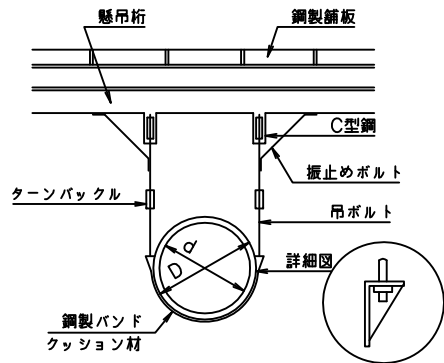


単位: mm

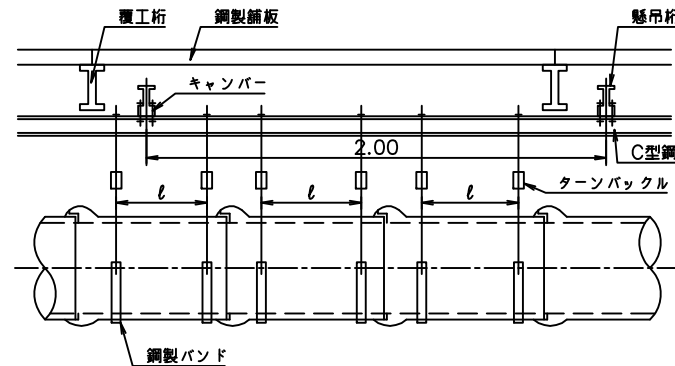
内径 (D)	鋼製バンド PL 巾×厚	吊ボルト φ	吊ボルトピッチ (ℓ)	振止めボルト φ	懸吊桁
250	50×1	13	2000	9	縮割巾により異なる
300	50×1	13	2000	9	
400	50×1	13	2000	9	

(陶管)

横断面図



縦断面図

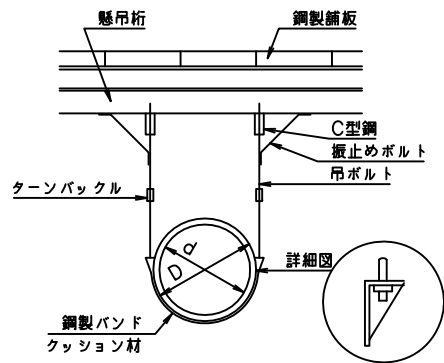


単位: mm

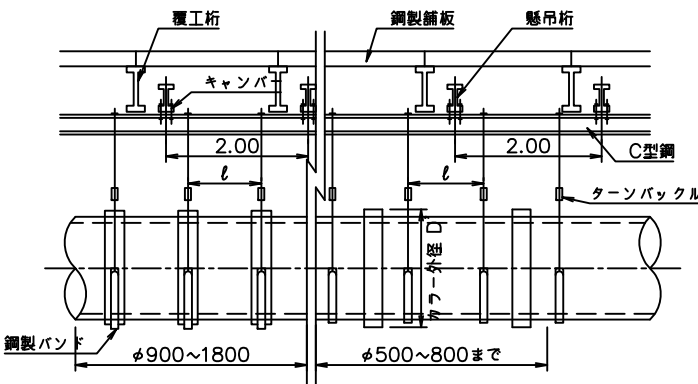
管径 (d)	外径 (D)	鋼製バンド PL 巾×厚	吊ボルト φ	吊ボルトピッチ (ℓ)	溝型鋼	振止めボルト φ
300	358	50×3	13	450	C125×65×6	9
380	446	50×3	13	450	C125×65×6	9

(A形管)

横断面図



縦断面図



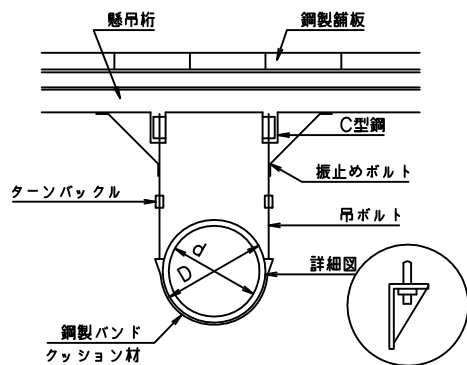
単位: mm

管径 (d)	外径 (D)	カラー外径 (D')	鋼製バンド PL 巾×厚	吊ボルト φ	吊ボルトピッチ (ℓ)	溝型鋼	振止めボルト φ
500	584	706	50×3	13	1200	C125×65×6	9
600	700	830	50×3	13	1200	C125×65×6	9
700	816	962	50×3	13	1200	C125×65×6	9
800	932	1094	50×3	13	1200	C125×65×6	9
900	1050	1230	100×6	16	1200	C150×75×9	13
1000	1164	1364	100×6	16	1200	C150×75×9	13
1100	1276	1488	100×6	16	1200	C150×75×9	13
1200	1390	1616	100×6	16	1200	C150×75×9	13
1350	1556	1798	100×6	19	1200	C180×75×7	16
1500	1724	1992	100×6	19	1200	C180×75×7	16
1650	1890	2174	100×6	19	1200	C200×90×8	16
1800	2054	2352	100×6	22	1200	C200×90×8	16

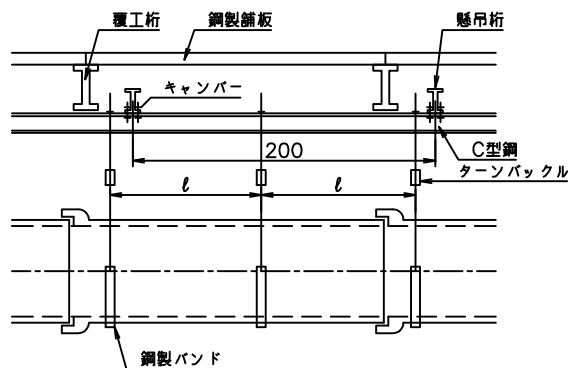
既設下水管吊防護標準図 (2)

(B 形管)

横断面図



縦断面図

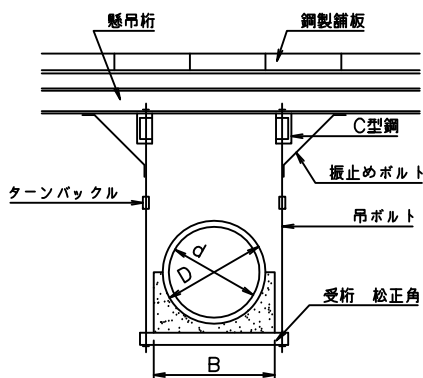


単位: mm

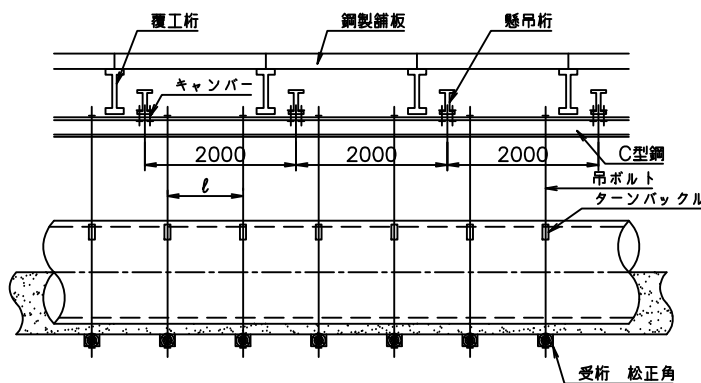
管径 (d)	外径 (D)	鋼製バンド PL 巾×厚	吊ボルト φ	吊ボルトピッチ (D)	溝型鋼	振止めボルト φ
300	360	50×3	13	1000	C125×65×6	9
400	470	50×3	13	1200	C125×65×6	9
450	526	50×3	13	1200	C125×65×6	9
500	584	50×3	13	1200	C125×65×6	9
600	700	50×3	13	1200	C125×65×6	9
700	816	50×3	13	1200	C125×65×6	9
800	932	50×3	13	1200	C125×65×6	9

(C 形管)

横断面図



縦断面図



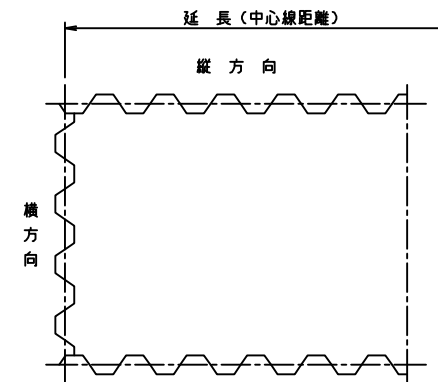
単位: mm

管径 (d)	外径 (D)	保護コンクリート巾 (B)	受桁	吊ボルト φ	吊ボルトピッチ (D)	溝型鋼	振止めボルト φ
900	1050	1400	180×180	16	1000	C150×75×9	13
1000	1164	1500	180×180	16	1000	C150×75×9	13
1100	1276	1600	180×180	19	1000	C180×75×7	16
1200	1390	1700	180×180	19	1000	C180×75×7	16
1350	1556	1900	240×240	19	800	C200×90×8	16
1500	1724	2100	240×240	19	800	C200×90×8	16
1650	1890	2300	240×240	22	800	C250×90×9	19
1800	2054	2500	240×240	22	800	C250×90×9	19

鋼矢板立坑寸法参考表（T型コーナー矢板使用の場合）

Ⅲ 型			
矢板枚数 (枚)	横方向	縦方向	
4	2.25		
5	2.65		
6	3.05		
7	3.45	2.40	2.15 2.65
8	3.85	(2.80)	(2.55 2.05)
9	4.25	3.20	2.95 3.45
10	4.65	(3.60)	(3.35 3.85)
11	5.05	4.00	3.75 4.25
12	5.45	(4.40)	(4.15 4.65)
13	5.85	4.80	(4.55 5.05)
14	6.25	(5.20)	(4.95 5.45)
15	6.65	5.60	5.35 5.85
16	7.05	(6.00)	(5.75 6.25)
17	7.45	6.40	6.15 6.65
18	7.85	(6.80)	(6.55 7.05)
19	8.25	7.20	6.95 7.45
20	8.65	(7.60)	(7.35 7.85)
21		8.00	7.75 8.25
22		(8.40)	(8.15 8.65)
23		8.80	8.53 9.05

Ⅱ 型			
矢板枚数 (枚)	横方向	縦方向	
4	2.20		
5	2.60		
6	3.00		
7	3.40	2.40	2.20 2.60
8	3.80	(2.80)	(2.60 3.00)
9	4.20	3.20	3.00 3.40
10	4.60	(3.60)	(3.40 3.80)
11	5.00	4.00	3.80 4.20
12	5.40	(4.40)	(4.20 4.60)
13	5.80	4.80	4.60 5.00
14	6.20	(5.20)	(5.00 5.40)
15	6.60	5.60	5.40 5.80
16	7.00	(6.00)	(5.80 6.20)
17	7.40	6.40	6.20 6.60
18	7.80	(6.80)	(6.60 7.00)
19	8.20	7.20	7.00 7.40
20	8.60	(7.60)	(7.40 7.80)
21		8.00	7.80 8.20
22		(8.40)	(8.20 8.60)
23		8.80	8.60 9.00



注) A, BはT型コーナー矢板の向により変わる。

()は通常持用しない。

打込(引抜)枚数は、横方向と縦方向の合計による。

損料枚数は、コーナー分(2枚)を上乗せして計算する。

例) Ⅱ型 3.45×5.60 (T型コーナーは同方向)

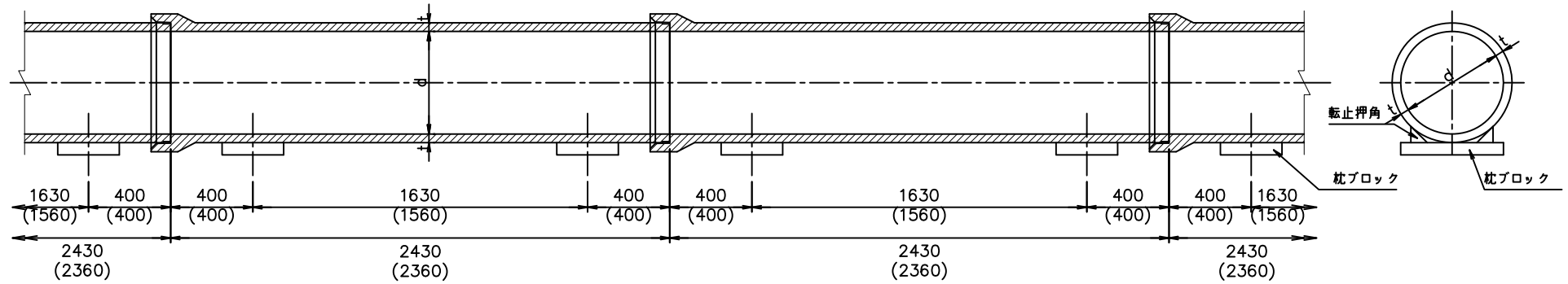
打込(引抜)枚数 (7+15)×2=44枚

損料枚数 44+2=46枚

オーガー併用圧入杭打機使用の場合()書は採用しない。

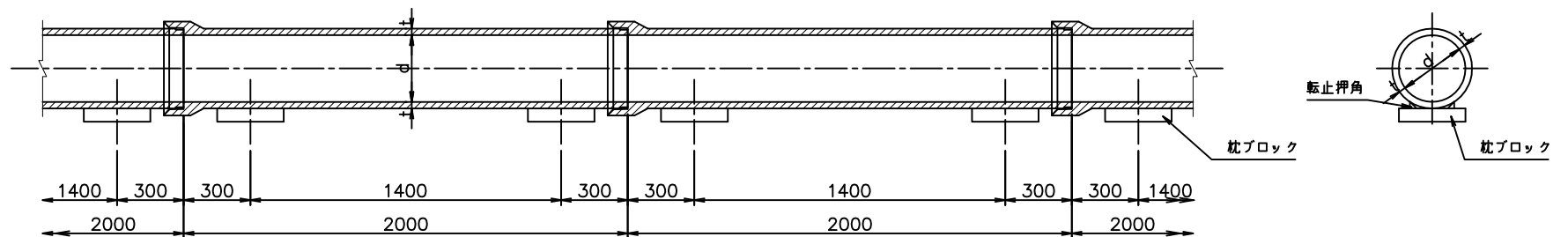
遠心力鉄筋コンクリート管布設詳細図（コンクリート枕ブロック基礎工）（1）

B形（ソケット）ヒューム管 L=2.430

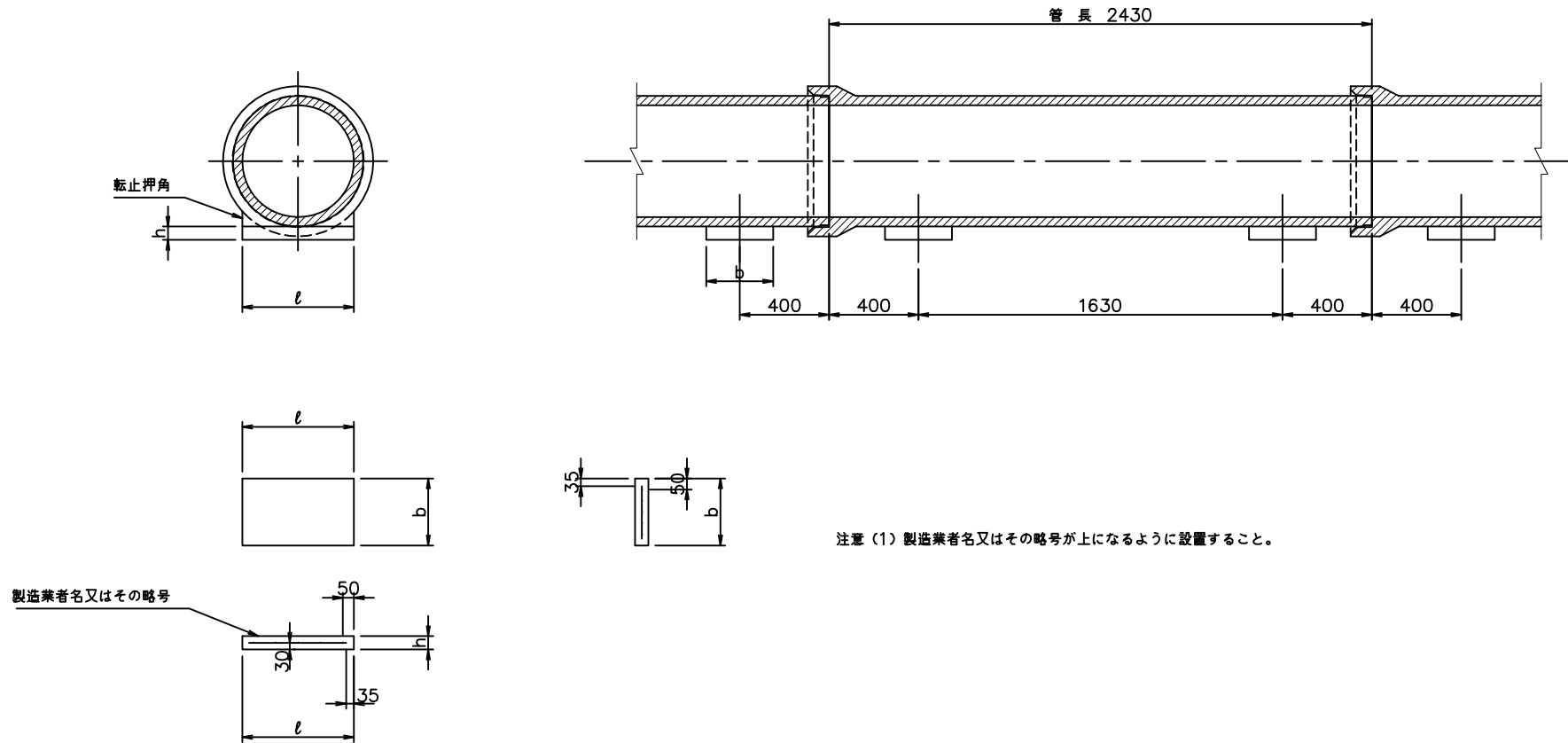


（注）（ ）内はC形管 L=2.360

B形（ソケット）ヒューム管 L=2.000



遠心力鉄筋コンクリート管布設詳細図（コンクリート枕ブロック基礎工）（2）



コンクリート枕ブロック材料表

単位：mm

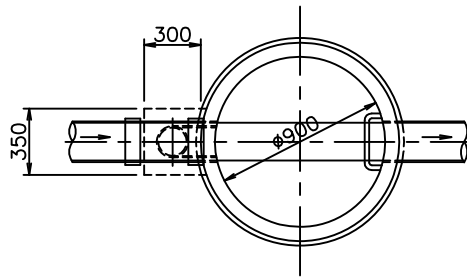
管径 (mm)	長 (b) (mm)	幅 (D) (mm)	厚 (n) (mm)	コンクリート ブロック (m ³)	主鉄筋				補助鉄筋				参考重量 (kg)
					呼び名	長 (mm)	本	重量 (kg)	呼び名	長 (mm)	本	重量 (kg)	
250~500	300	500	60	0.009	D6	430	3	0.321	D6	230	5	0.286	21.6
600~800	350	800	80	0.022	D6	730	3	0.545	D6	280	8	0.558	52.8
900~1100	400	1100	120	0.053	D10	1030	4	2.307	D6	330	11	0.904	126.7
1200~1500	400	1500	150	0.090	D10	1430	8	6.406	D10	330	15	2.772	216.0

・鉄筋はJIS G 3112に基づき異形棒鋼を使用
 ・D6は丸鋼を使用してもよい。
 但し、鉄筋端部の巻上げ加工をすること。

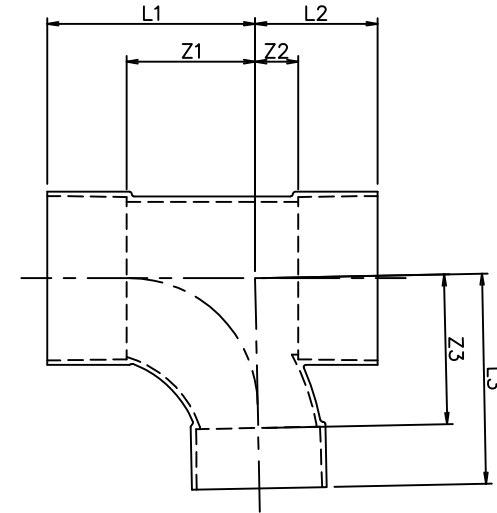
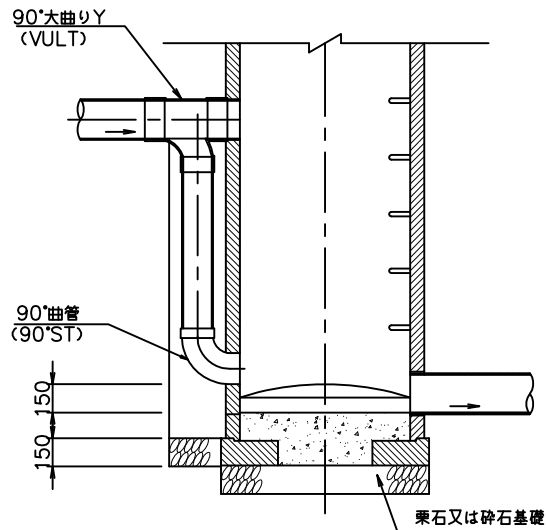
副管付きマンホール構造標準図
 (本管φ200 副管φ150の場合)

90° 大曲りY φ200×φ150
 (VULT)

平面図



断面図



注 材料についている矢印は無視すること。

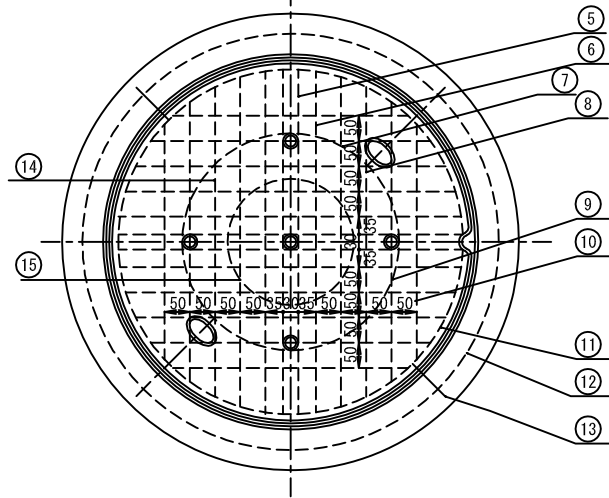
(単位mm)

品名	サイズ	Z1	Z2	Z3	L1	L2	L3
200×150		170	57	196	275	162	278

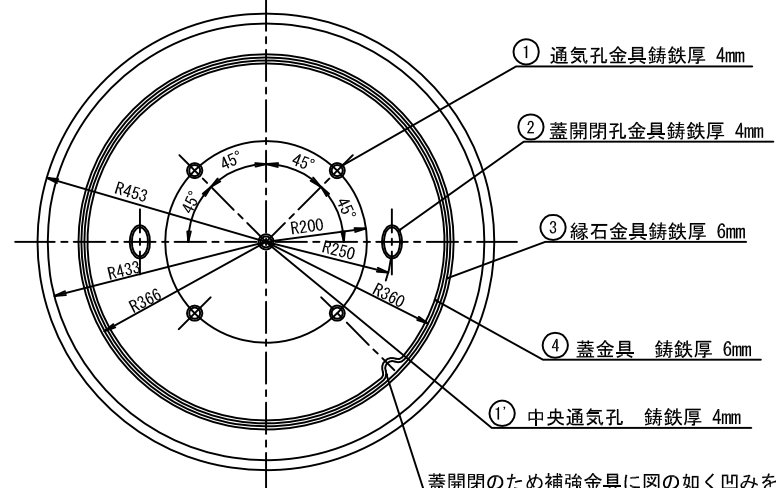
備考 Z1,Z2及びZ3の許容部は、呼び径100以下は±2mm
 呼び径150は±3mmとする。

マンホール装鉄コンクリート製蓋及同縁石詳細図（参考図）

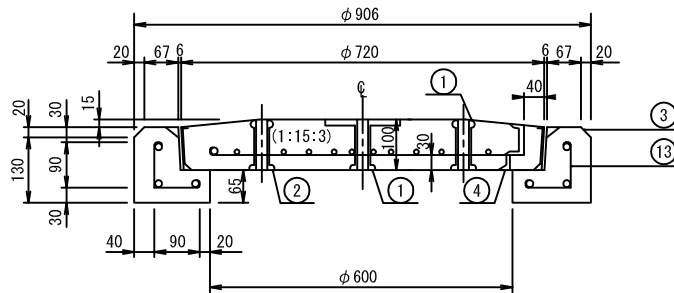
配筋図



平面図



蓋開閉のため補強金具に図の如く凹みを設ける。
尚、この下部も別図の如く段違にすること。

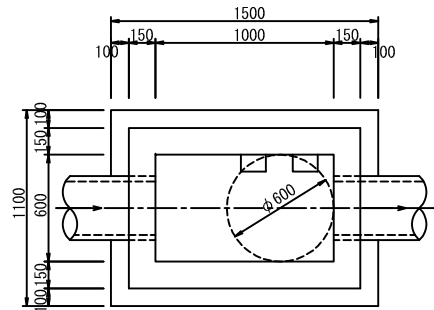


鉄筋表					
番号	長さ	径	本数	重量	備考
5	780	9	4	1.56	
6	770	9	4	1.54	
7	750	9	4	1.50	
8	730	9	4	1.46	
9	650	9	4	1.30	
10	550	9	4	1.10	
11	2560	9	2	2.55	
12	2970	9	2	2.96	
13	300	9	8	1.20	
14	1840	9	1	0.91	
15	1200	9	1	0.60	
計				16.68	

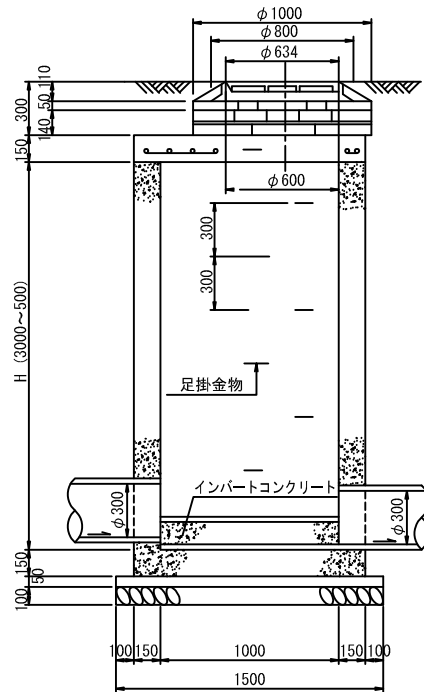
1個当り参考重量
蓋 102kg
受枠 112kg

特殊A型マンホール I タイプ構造図

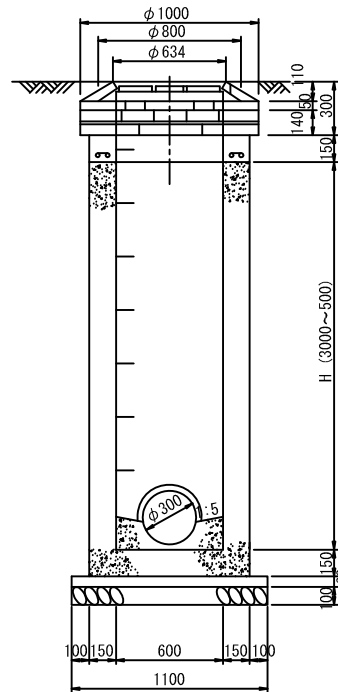
平面図



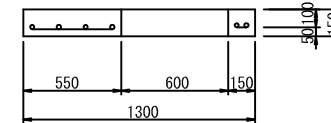
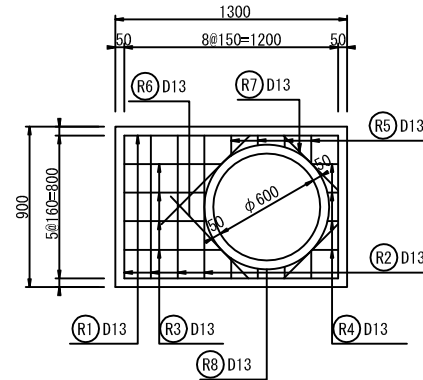
縦断面図



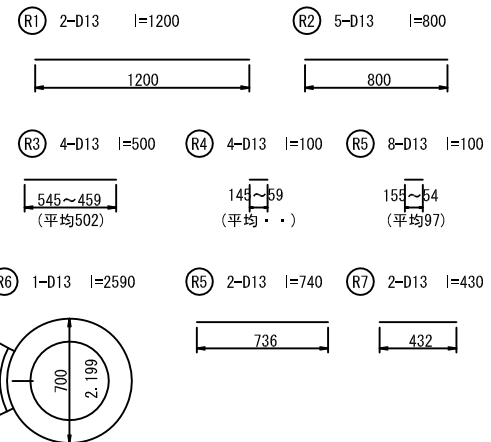
横断面図



床版配筋図

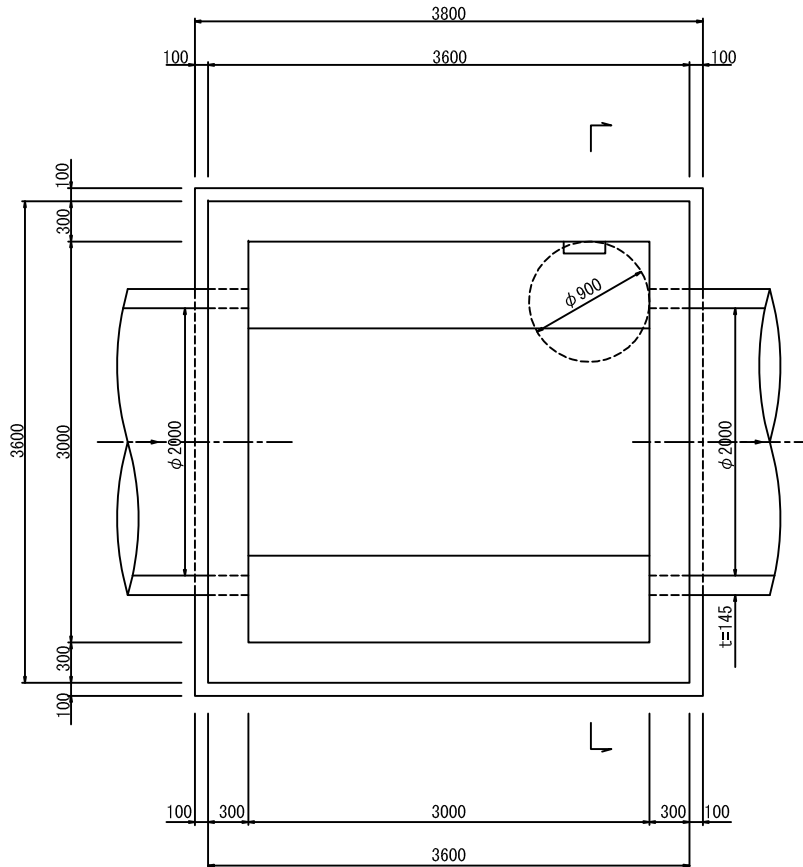


鉄筋加工図

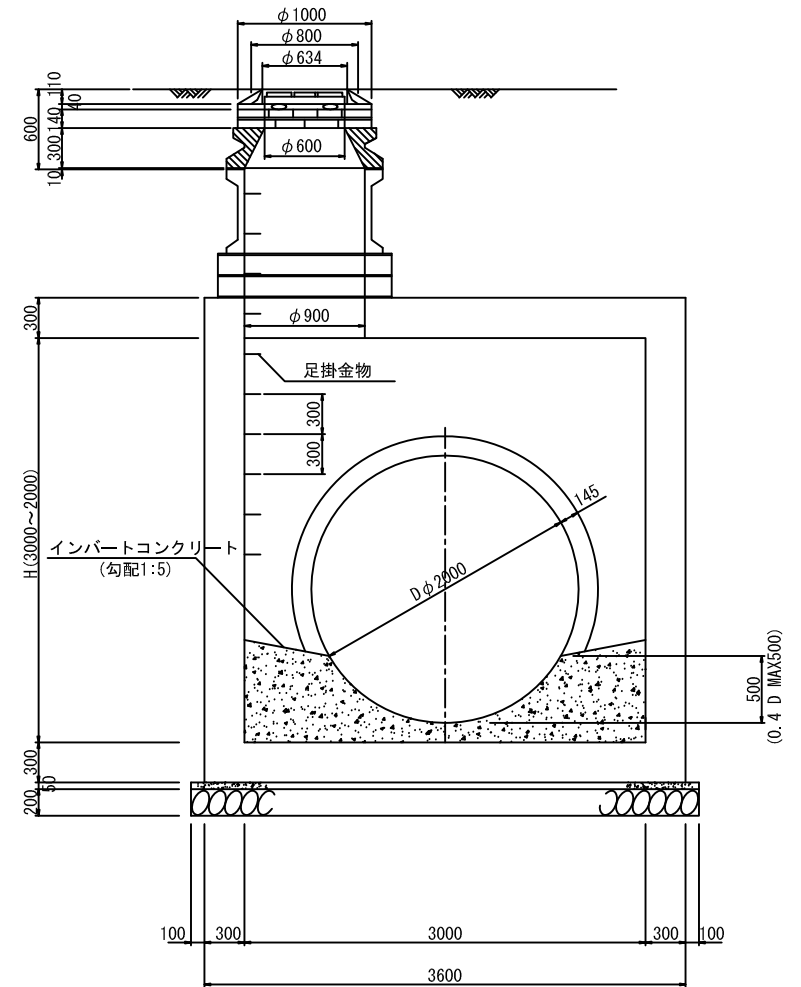


G 型マンホール I タイプ構造図

平面図

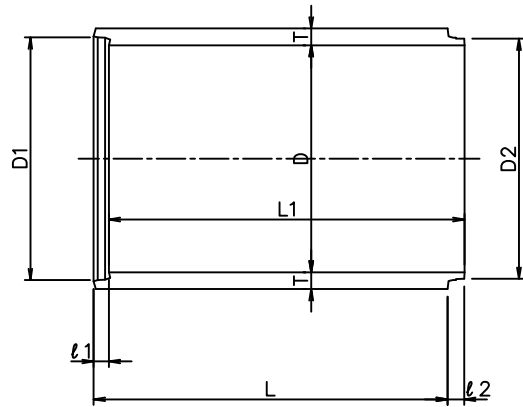


断面図



C形管の形状寸法 (JIS A-5372) ※2010年削除
(JSWAS A-1) ※2011年削除

C 形

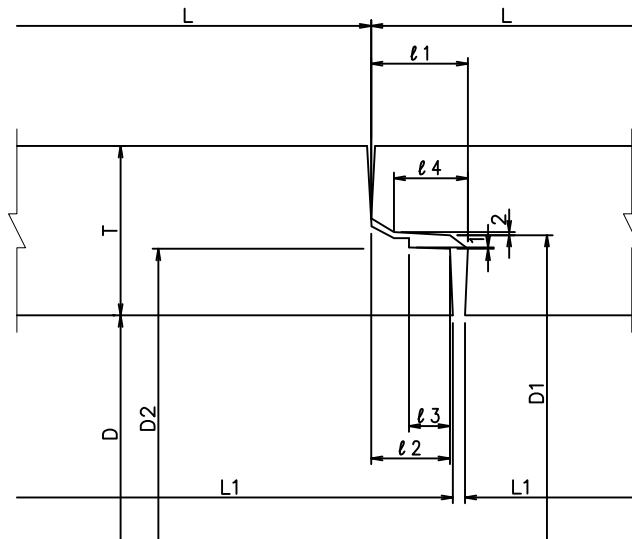


単位: mm

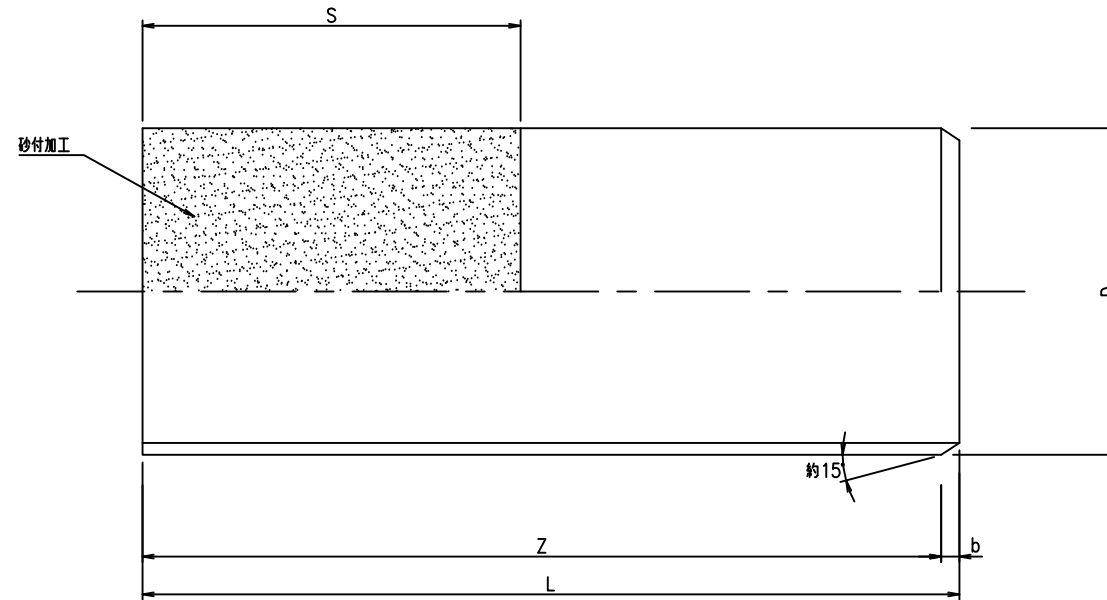
呼び径	内径 D	D1	D2	厚さ T	ℓ1	ℓ2	ℓ3	ℓ4	有効長(注) L	L1	参考質量 (kg)
1500	1500	1604	1588	112	62	52	27	49	2360	2352	3270
1650	1650	1760	1744	120							3850
1800	1800	1914	1898	127							4430
2000	2000	2132	2116	145	67	57	54	5640			
2200	2200	2342	2326	160				6840			
2400	2400	2556	2536	175	72	62	59	8170			
2600	2600	2766	2746	190				9610			
2800	2800	2976	2956	205	77	67	64	11200			
3000	3000	3186	3166	220				12800			

(注) 呼び径1500~1800の管の有効長(L)は、1145mmとすることができる。

(継手部詳細図) 単位: mm



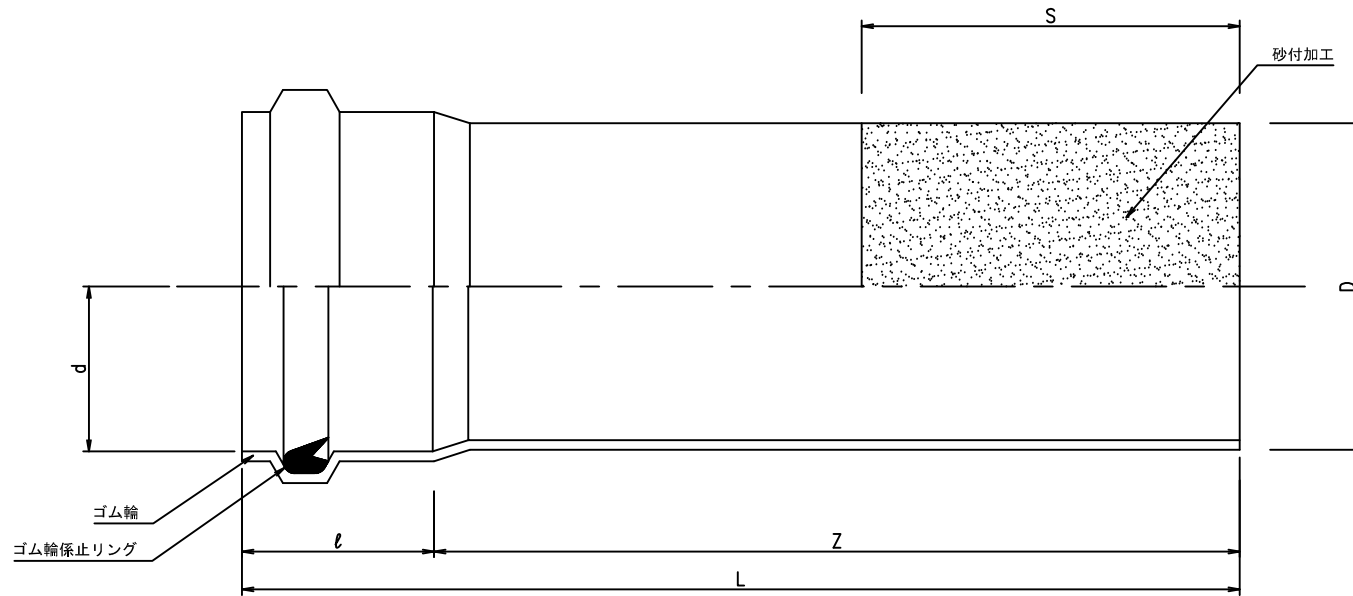
マンホール差口短管 下流用マンホール継手 (参考図)



単位: mm

呼び径	D	Z±15	L	S (参考)	b (参考)
200	216	2000	2012	250	12
250	267	2000	2015	250	15
300	318	2000	2017	250	17
350	370	2000	2020	250	20
400	420	2000	2022	300	22
450	470	2000	2025	300	25
500	520	2000	2027	300	27

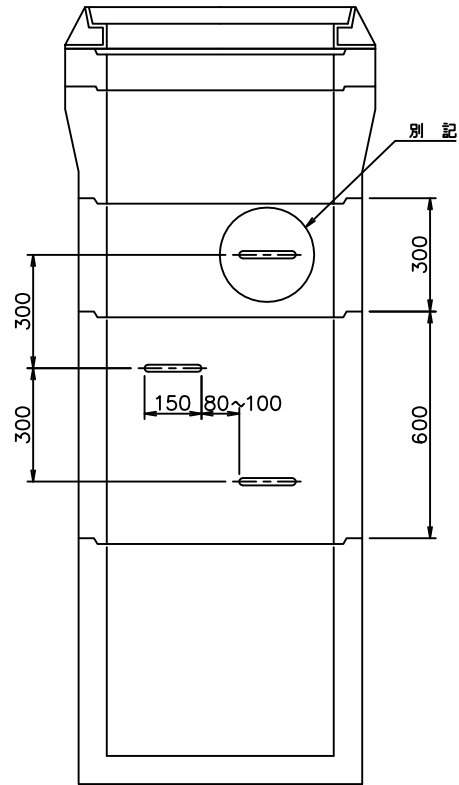
マンホール差口短管 上流用マンホール継手 (参考図)



単位: mm

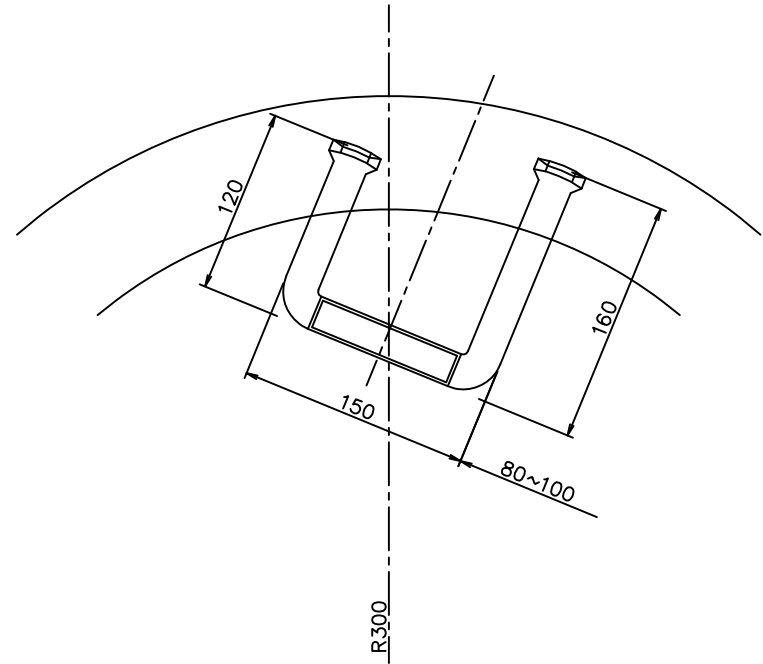
呼び径	D	d	ℓ	Z±15	L	S(参考)
200	216	236.9 ±2.0	110 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2110	250
250	267	288.1 ±2.0	115 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2115	250
300	318	341.3 ±2.0	127 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2127	250
350	370	395.5 ±2.2	135 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2135	250
400	420	445.7 ±2.2	140 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2140	300
450	470	499.9 ±2.5	149 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2149	300
500	520	550.1 ±2.5	155 ⁺¹⁵ / ₋₁₀	2000	2155	300

特殊組立マンホール（φ600）足掛金物（参考図）



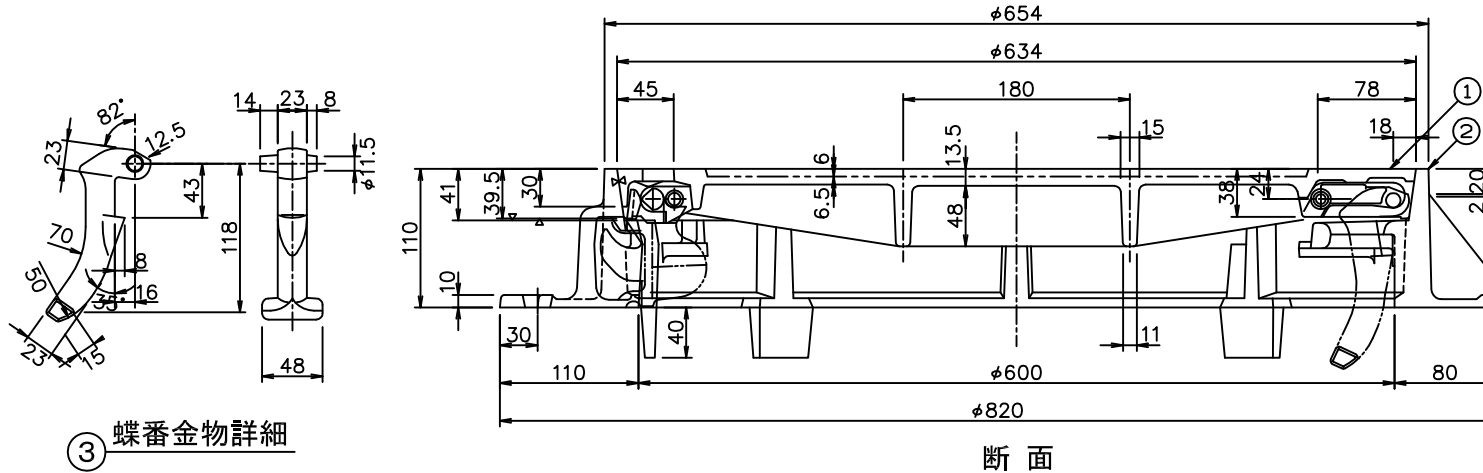
足掛金物は
H=300以上の直壁ブロックに取付ける。

取付け詳細図



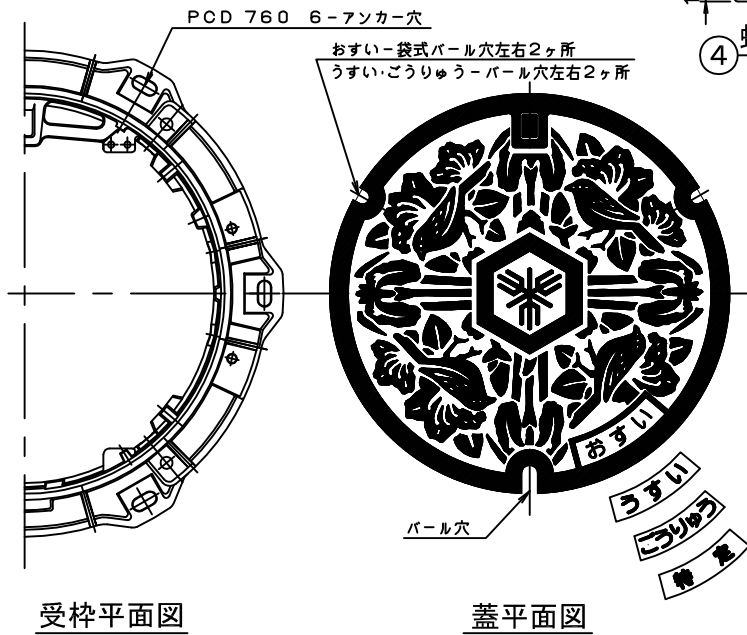
* 参考図の形、寸法は概要であり規定したものではない。

マンホール蓋詳細図 φ600 (T-14)



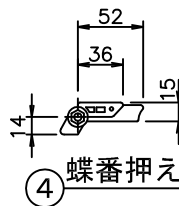
③ 蝶番金物詳細

断面

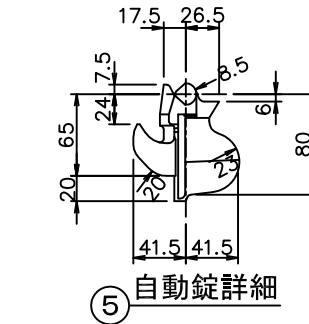


受枠平面図

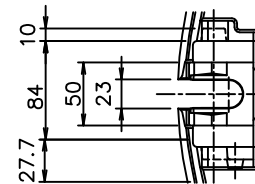
蓋平面図



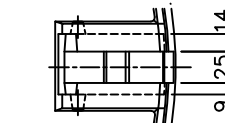
④ 蝶番押え



⑤ 自動錠詳細

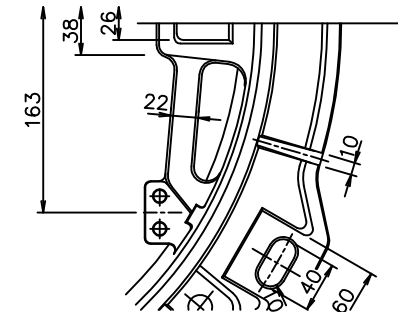


蓋裏自動錠取付部詳細



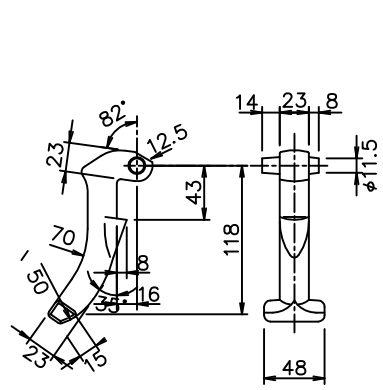
蓋裏蝶番部詳細

受枠蝶番部詳細

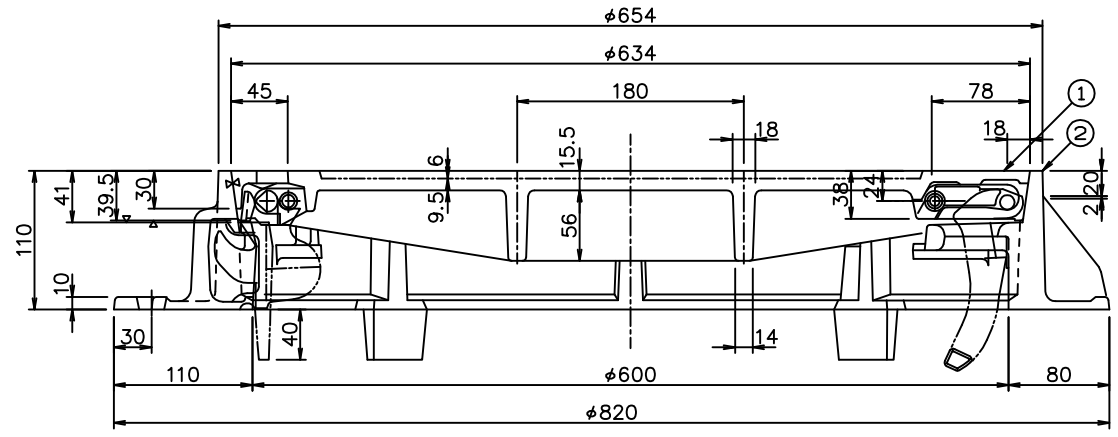


5	自動錠	FCD600	1	ボルト・Uナット
4	蝶番押え	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	蝶番金物	FCD600	1	
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	

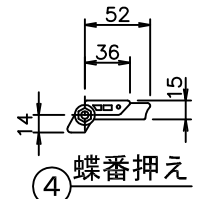
マンホール蓋詳細図 φ600 (T-25)



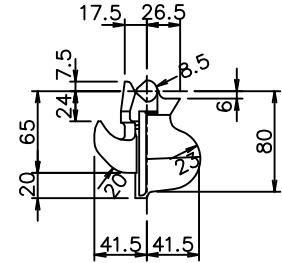
③ 蝶番金物詳細



断面

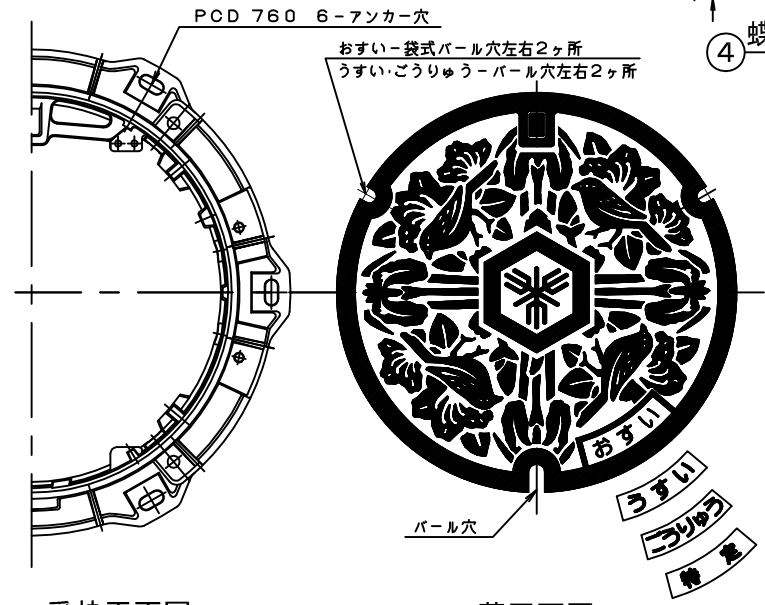
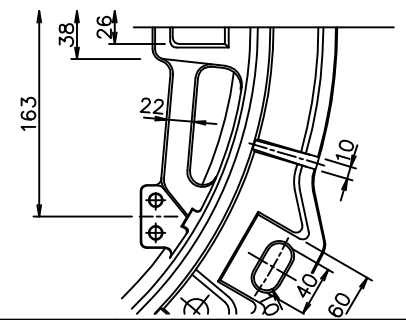


④ 蝶番押え



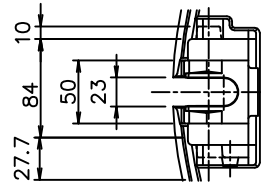
⑤ 自動錠詳細

受枠蝶番部詳細

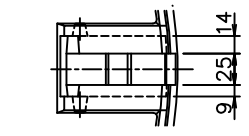


受枠平面図

蓋平面図



蓋裏自動錠取付部詳細



蓋裏蝶番部詳細

5	自動錠	FCD600	1	ボルト・Uナット
4	蝶番押え	ナイロン	1	ボルト・Uナット
3	蝶番金物	FCD600	1	
2	受枠	FCD600	1	
1	蓋	FCD700	1	